

# snorkel



S2755BE

S2255BE

S2755RT

S2255RT

## 取扱説明書

シリアル番号:

S2255RT-07-190100208 &

6275557-07-180700201 2QZDUGV

# DANGER

高所作業台は電氣的に絶縁されていません。通電中の導体と接触したり、接触不良を起こしたりすると死亡または重傷を負うことがあります。

第3章-安全の章の「最低安全接近距離」の項で定義されている最低安全接近距離より近づかないでください。

すべての導体を通電状態とみなす。

電線のたるみや架空作業台の揺れを考慮してください。

作業台、ブーム、または高所作業台の一部が高圧導体に接触すると、機械全体が電氣的に帯電する可能性があります。

その場合は、機械上にとどまり、他の構造物や物体には接触しないようにしてください。これには、地面、隣接する建物、ポール、および空中プラットフォームの一部ではないその他の物体が含まれます。

このような物体に接触すると、身体が他の物体に導体となり、感電により死亡または重傷を負う危険があります。

高所作業台が通電導線に接触している場合、作業台のオペレーターは近くにいる地上作業員に遠ざかるように警告しなければなりません。身体に電気が伝導し、感電により死亡または重傷を負う恐れがあります。

電気が切れるまで、高所作業台に近づいたり離れたりしないでください。

作業台、ブーム、または高所作業台の一部が高圧導体に接触している場合、またはそのような接触がすぐに起こる危険性がある場合は、下部操作ボタンを操作しないでください。

高所作業台の上または近くにいる作業者は、通電されている導体に接触することで死亡または重傷を負う可能性があることを認識し、電氣的な危険性を継続的に認識しなければなりません。

# 第1章 - 概要

## 作業台の特徴

高所作業台は、シザースタックで支持された昇降作業台で、作業員、作業工具、材料をワークステーションに昇降させるために使用されます。スタックは油圧シリンダーで上下します。駆動輪上の油圧モーターは、高所作業台を動かすための動力を提供する。

標準機には以下の特長があります:

- ・ 比例リフトおよび駆動コントロール
- ・ 発泡充填タイヤ
- ・ エンジン高温停止
- ・ 油圧低下シャットダウン
- ・ アワーメーター
- ・ ホーン
- ・ 点滅灯
- ・ ドライブモーションアラーム
- ・ 作業台過負荷システム
- ・ タイダウン/リフティングラグ
- ・ 傾斜アラーム
- ・ 診断センター表示
- ・ 緊急ブリードダウンシステム
- ・ 落下防止アンカー3本
- ・ 5年限定保証

高所作業台は、該当する場合、以下の組織の適用されるすべての要件に適合するように製造されています:

- ・ 労働安全衛生庁(OSHA)
- ・ 米国国家規格協会

## オプション

本機には、以下のオプションが用意されている場合があります:

- ・ プラットフォームへの航空会社
- ・ 交流発電機110V/240V 2 kW
- ・ 全動作アラーム
- ・ 寒中スタートキット
- ・ 欧州適合(CE)対応
- ・ オーストラリア/ニュージーランド規格(AS/NZS)準拠
- ・ カナダ規格協会(CSA)の準拠

## 取扱説明書

このマニュアルは、高所作業台を安全かつ適切に操作するための情報を提供します。本マニュアルに記載されている情報の中には、お使いの機械に装備されている場合と装着されていない場合があるオプションを指すものがあります。作業上で高所作業台を操作する前に、この取扱説明書の情報をよく読み、理解してください。

本取扱説明書の追加コピーはスノーケルから注文することができます。正しい取扱説明書が確実に供給されるように、型式および手動部品番号をフロントカバーから供給してください。

本書に記載されているすべての情報は、発行時の最新の製品情報に基づいています。スノーケルは、義務なしにいつでも製品変更を行う権利を留保します。

## 安全警告

本書では、危険、警告、および注意の指示を示すために、安全警告シンボルを使用しています。これらの指示に従って、人身傷害や物的損害の可能性を減らしてください。危険、警告、および注意という用語は、さまざまな程度の人身事故や物的損害が発生する可能性があります。

### ▲ 危険

回避しないと、死亡または重傷を招く切迫した危険な状況を示します。この注意喚起語は、最も極端な状況で使用されることを意味します。

### ▲ 警告

回避しないと、死亡または重傷を負う可能性がある潜在的に危険な状況を示します。

### ▲ 注意

回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある潜在的に危険な状況を示します。また、不安全行為に対する警告にも使用される場合があります。

#### ご注意

注意事項は、高所作業台の操作を補助するための特別な情報や役に立つヒントを提供するために使用されますが、危険な状況を示すものではありません。

## 動作

高所作業台には安全機能が組み込まれており、工場出荷時にスノーケルの仕様および業界標準に準拠することがテストされています。しかし、訓練を受けていない作業員や不注意な作業員の手で、高所作業台を持ち上げる作業員は危険な場合があります。

### ▲ 警告

訓練と認可を受けていない人員が高所作業台を操作すると、事故の可能性が高まります。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。このマニュアルおよび機械のプラカードやデカールに記載されている情報を読み、理解してから、作業上の高所作業台を操作してください。

訓練は必須であり、有資格者が実施しなければならない。

- ・ 職場で高所作業台を使用する前に、知識と実際の操作に熟練してください。

- ・ オペレーターは、高所作業台のあらゆる機能を訓練され、認可されている必要があります。
- ・ 高所作業台の操作は、機械の仕様の範囲内で行われなければなりません。

作業者は、使用者または州法もしくは連邦法のすべての製造者の指示、警告、規制および安全規則に従うことについて、最終的な責任を負います。

### 保守

機械の完全な点検は、定期的な目視点検および運転点検と、適切な性能を保証する定期的な軽微な調整で構成されています。日常点検は異常摩耗を防ぎ、すべてのシステムの寿命を延ばします。点検整備スケジュールは、本機をサービスに戻す前に、指定された間隔で、長期間保管した後に実施してください。点検・整備は、機械的・電気的手順を熟知し、訓練を受けた担当者が行ってください。

高所作業台の保守、点検、テスト、または修理を行うすべての担当者は、その資格を有していなければなりません。この取扱説明書に記載されている毎日のプリスタート点検に従って、高所作業台を最適な状態に保つことができます。その他の保守機能は、高所作業台で作業する資格を持つ保守担当者が行う必要があります。

### 注意

溶接電流は非常に激しい場合があります。電子部品が損傷する恐れがあります。接地クランプは、溶接される場所にできるだけ近づけて接続してください。本機を溶接する前に、バッテリーケーブルとマイクロプロセッサおよびエンジン制御モジュールを取り外してください。

修理方法として高所作業台コンポーネントを溶接する必要がある場合は、機械の電子回路やデバイスが損傷しないように、すべての予防措置を講じてください。これには、バッテリーケーブルや電子デバイスの切断が含まれますが、これに限定されない場合があります。

スノーケル技術部の書面による事前の同意なしに、この架空プラットフォームを改造しないでください。改造は保証を無効にしたり、安定性に悪影響を与えたり、高所作業台の動作特性に影響を及ぼす可能性があります。

### 責任マニュアル- ANSI

高所作業台のすべての所有者とユーザーは、適用されるすべての規制を読み、理解し、遵守する必要があります。OSHA 規制への最終的な準拠は、ユーザーとその使用者の責任です。

### MEWP 安全使用- AS/NZS

高所作業台の所有者およびユーザーはすべて、AS/NZS 2550.10:2006に記載されている適用されるすべての規制を読み、理解し、これに準拠する必要があります。最終的な準拠は、使用者およびその使用者の責任です。

### AS/NZS 1418.10 試運転

AS/NZS 1418.10に基づき、満足できる完成済みの納入前および検査記録(PDIR)のスノーケルへの返却時に機械が試運転されている。PDIR検査はスノーケル社、またはその代理店が機械を顧客に納品する前に実施します。販売代理店からの依頼により、完成したPDIRフォームを入手することができます。

### CE適合

高所作業台は、EN280:2013およびANSI A92.5の両方の要件を満たし、それを超えています。

## 第 2 章 - 仕様

### 構成部品の識別

上部コントロール

操作マニュアル

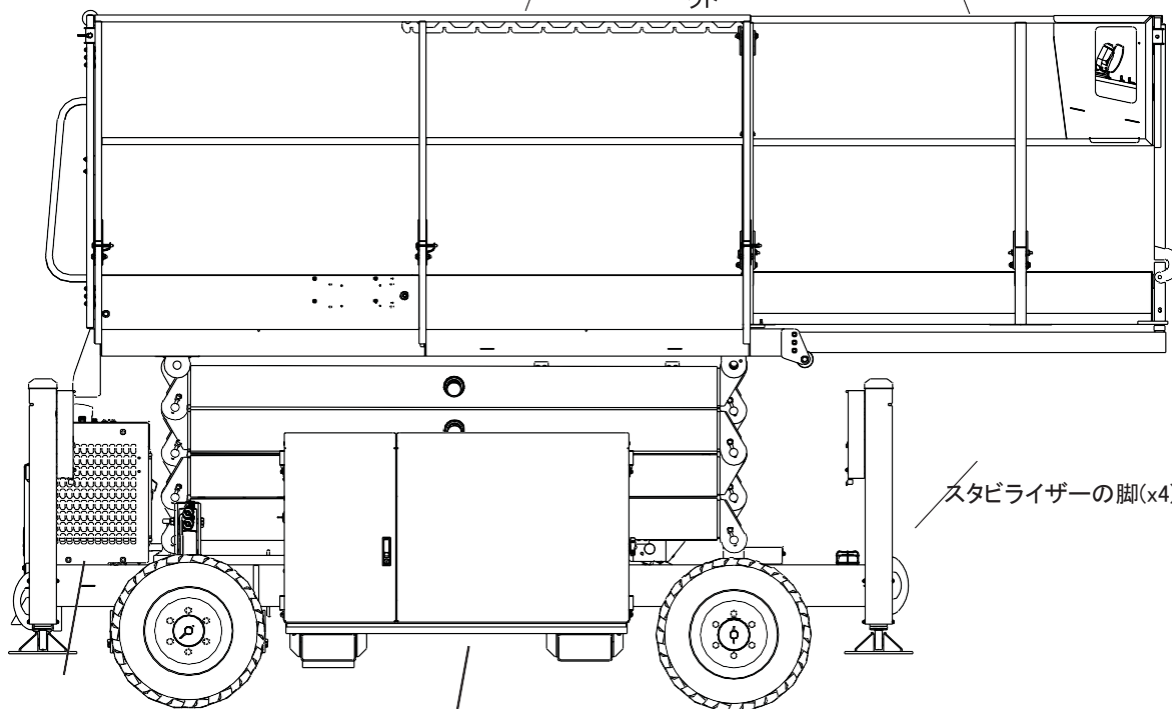
作業台  
入口

シザースタック

下部コントロー  
ルとシリアルプレ  
ート

ロールアウトデッキ

作業台  
燃料  
キャビネ  
ット



スタビライザーの脚(x4)

エンジ  
ンキャビ  
ネット

制御キ  
ャビネッ  
ト

## ■ S2255RT

仕様		S2255RT		S2255BE	
作業可能高さ	ホイール	8.1m	26' 7"	8.1m	26' 7"
	スタビライザ	8.5m	27' 11"	8.5m	27' 11"
作業台床面高さ	ホイール	6.1m	20'	6.1m	20'
	スタビライザ	6.5m	21' 4"	6.5m	21' 4"
ロールアウトデッキサイズ		1.2m	47"	1.2m	47"
ドライブ速度	2.4m以下	0~5.2kp/h	時速3マイル	0~5.2kp/h	時速3マイル
	2.4m超	0~0.64kp/h	時速0~0.4マイル	0~0.64kp/h	時速0.4マイル
安全使用荷重 (ロールアウトデッキ延長不可)	メインデッキ	420kg	9251b	420kg	9251b
安全使用荷重 (ロールアウトデッキ延長)	メインデッキ	300kg	6611b	300kg	6611b
	ロールアウトデッキ	120kg	2651b	120kg	2651b
作業台サイズ		2.73x1.4m	8' 11" 11" x 4' 7"	2.73 X X 1.4m	
収納高さ	通常状態	2.35m	7' 8"	2.35m	7' 8"
	ハンドレールを折りたたんだ場合	1.55m	5' 1"	1.55m	5' 1"
全長		3.3m	11' 0"	3.3m	11' 0"
全幅		1.45m	4' 9"	1.45m	4' 9"
グレーダビリティ		35%		35%	
リフト上昇時間		24 ~ 29 秒		24 ~ 29 秒	
リフト下降時間		40 ~ 42 秒		40 ~ 42 秒	
旋回半径	内側	2.5m	8.2'	2.5m	8.2'
	外側	4.75m	15.6'	4.75m	15.6'
使用可能最高風速	秒速12.5m	45km/h	28mph	45km/h	28mph
絶縁定格		ニッケル		ニッケル	
タイヤ	ポリ充填ローダーラグ	23" x 8.9" 12"		23" x 8.9" 12"	
全体重量		2410kg	53131b	2750kg	60631b
地上クリアランス	最小	170mm	7"	170mm	7"
	中間キャビネット	260mm	10.2"	260mm	10.2"
作業台での最大サウンドレベル		86db		86db	
アウトリガ最大荷重		1420kg	31301b	1625kg	35841b
最大輪重		1420kg	31301b	1625kg	35841b
シャーシの最大傾斜		2/4度		2/4度	
最大手動力		400N		400N	

## S2755RT

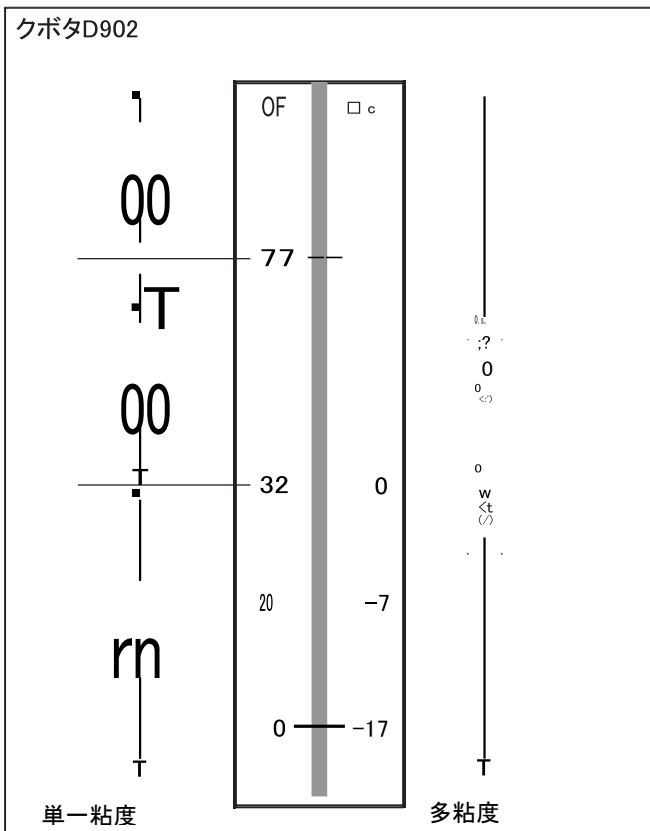
仕様		S2755RT		S2755BE	
作業可能高さ	ホイール	9.9m	32' 611	9.9m	32' 611
	スタビライザ	10.4m	34' 1"	10.4m	34' 1"
作業台床面高さ	ホイール	7.9m	25' 11"	7.9m	25' 11"
	スタビライザ	8.4m	27' 7"	8.4m	27' 7"
ロールアウトデッキサイズ		1200mm	47"	1200mm	47"
ドライブ速度	2.4m以下	0~?kph	時速0マイル から4.3マイル	0~?kph	時速0マイル から4.3マイル
	2.4m超	0~0.8kph	時速0~0.5マ イル	0~0.8kph	時速0~0.5マ イル
安全使用荷重 (ロールアウトデッキ延長不可)	メインデッキ	300kg	750lbs	340kg	750lbs
安全使用荷重 (ロールアウトデッキ延長)	メインデッキ	180kg	661lbs	220kg	485lbs
	ロールアウトデッキ	120kg	264lbs	120kg	264lbs
作業台サイズ		2.73 x 1.4m	8' 11" 11" x 4' 7"	2.73 x 1.4m	8' 11" 11" x 4' 7"
収納高さ	通常状態	2.5m	8' 3"	2.5m	8' 3"
	ハンドレールを折りたた んだ場合	1.75m	5' 811	1.75m	5' 811
全長		3.3m	11' 0"	3.3m	11' 0"
全幅		1.45m	4' 9"	1.45m	4' 9"
グレーダビリティ		35%		35%	
リフト上昇時間		24 ~ 29 秒		24 ~ 29 秒	
リフト下降時間		40 ~ 42 秒		40 ~ 42 秒	
旋回半径	内側	2.5m	8.2'	2.5m	8.2'
	外側	4.75m	15.6'	4.75m	15.6'
電源		ディーゼルエンジン		ディーゼルエンジン	
最高風速	秒速12.5m	45km/h	28mph	45km/h	28mph
絶縁定格		ニッケ ル		ニッケ ル	
タイヤ	ポリ充填ローダーラグ	23" X X 8.9 インチ X 12 インチ		23" X X 8.9 インチ X 12 インチ	
全体重量		2750kg	6062. ?lbs	2950kg	6490lb
地上クリアランス	最小	170mm	7"	170mm	7"
	中間キャビネット	260mm	10.2"	260mm	10.2"
作業台での最大サウンドレベル		86db		86db	
アウトリガ最大荷重		1470kg	3240lbs	1665kg	3663lb
最大輪重		1470kg	3240lbs	1665kg	3663lb
シャーシの最大傾斜		2/4度		2/4度	
最大手動力		400N		400N	

■ エンジンデータ

型式	クボタ(軽油)
型式	D902
燃料	ディーゼル
燃料等級	ASTMグレード2-D S500 Tier 4 準拠: 低スルフェアASTM グレード2-D S500 センテンス番号>44 (動作温度が0° C (32° F) 未満の場合は、「冬季」No. 2-D を使用)
クーラント	50%水+50%エチレングリコール
最高温度	110° C
石油容量	3.7 L
オイルグレード	API: CD よりも品質が良い
オイル重量	下図参照

■ エンジンオイル  
チャート

H.P SAE断続時: 20.4HP  
H.P SAE 連続: 23.5HP





### 3 章 – 安全性

このマニュアルの情報に関する知識と適切なトレーニングにより、高所作業台を安全に操作するための基礎が得られます。すべてのコントロールの位置と、緊急時に迅速かつ責任を持って行動するための操作方法を理解しておいてください。

安全装置は、事故の可能性を低減します。

- 安全装置を無効にしたり、改造したり、無視したりしないでください。
- 本書の安全警告は、事故が発生する可能性のある状況を示します。

能力、意図された使用、または安全な操作に関する不具合、危険または潜在的に安全でない状態が疑われる場合は、高所作業台の操作を中止し、援助を求めてください。

事業者は、その使用者または州もしくは連邦の法律のすべての製造者の指示および警告、規制、および安全規則を順守する最終責任を負う。

#### 感電の危険

高所作業台は金属製の部品でできており、絶縁されていません。すべての導体を通電状態とみなす。雷雨中は屋外で操作しないでください。

**最低安全進入距離- ANSI 通電されている電線とその関連部品への最低安全進入距離は、高所作業台の操作中に遵守する必要があります。**

#### ▲ 危険

高所作業台は電氣的に絶縁されていません。通電中の導体と接触したり、接触不良を起こしたりすると死亡または重傷を負うことがあります。ANSIで定義されている最小安全進入距離より近づかないこと。

ANSI 出版物では、バスバーや通電されている電線の近くで作業する場合に守らなければならない最小距離を定義しています。表1および図3は、足場工業会、ANSI/SIA A92.5を援用したものである。

電圧範囲(Phase to Phase)	最低安全進入距離	
	フィート	メートル
0~300V	接触を避ける	
300V~50kV超過	10	3.05
Over 50kV to 200kV	15	4.60
Over 200kV to 350kV	20	6.10
Over 350kV to 500kV	25	7.62
Over 500kV to 750kV	35	10.67
Over 750kV to 1000kV	45	13.72

表 1 – 最低安全進入距離

最低安全進入距離- AS/NZS 高所作業台の操作中は、通電されている電線とその関連部品までの最低安全進入距離を遵守しなければなりません。

**⚠ 危険**

高所作業台は電氣的に絶縁されていません。通電中の導体と接触したり、接触不良を起こしたりすると死亡または重傷を負うことがあります。各国の安全規則で定められている最低安全進入距離より近づかないでください。

AS/NZS 2550.10:2006では、電柱の架空電力線や鉄塔の架空電力線の近くで作業する場合に遵守しなければならない最低距離を定義しています。安全な進入距離を決定するには、機械のクリアランス要件のステッカーを参照してください(図1を参照)。

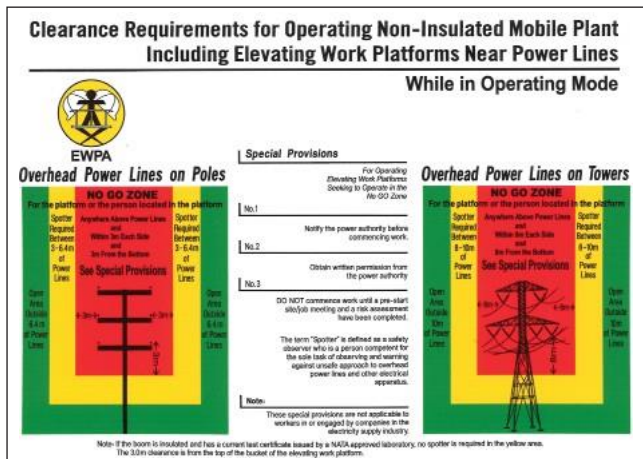


図1 - 最低安全進入距離

**作業台容量**

S2255RTとS2755RTでは、2人とその作業材料が作業台を占有することがあります。

**⚠ 危険**

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。本書に記載されている機械デカール、プラカード、機械仕様に記載されている容量値を超えないようにしてください。

最大無制限定格荷重容量、および高所作業台の最大乗員数は、マシンデカール、プラカード、本書の機械仕様に記載されています。

**手動力**

手動力とは、作業プラットフォームの外側の壁やその他の構造物などの物体に、乗員が加える力のことです。

**⚠ 危険**

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。マシンデカール、プラカード、本書の機械仕様に記載されている最大許容手動力を超えないようにしてください。

最大許容手動力は、乗員1人あたり45 lbs (200 N) の力に制限されており、乗員2人では最大90 lbs (400 N) です。

**風速**

掲示板、バナー、フラッグなどの風荷重を増加させるようなものを空中プラットフォームに追加しないでください。

**⚠ 危険**

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。28 mph (12.5m/s) 以上の風速で本機を操作しないでください。

風の突風または定常風速が28 mph (12.5m/s) 以上の風のある状態で高所作業台を操作しないでください。図2を参照してください。

**始業前点検**

第7章に記載されているように、各シフトの前にプリスタート検査を実施します。トレーニングを受け、許可されていない限り、作業上で高所作業台を使用しないでください。

**作業場所の調査及び実施**

溶接時には、架空作業台を接地接続として使用しないでください。

- 溶接接地クランプは、溶接されているのと同じ構造に取り付ける必要があります。

ビューフォート レイティン グ	風速				GROUND条件
	メー トル /秒	km/h	フイ ー ト/ 秒	mph	
3	3.4~5.4	12.25~19.4	11.5~17.75	7.5~12.0	紙や細い枝が動き、フラッグが波打つ。
4	5.4~8.0	19.4~28.8	17.75~26.25	12.0~18	ほこりが上がり、紙がうねり、小さな枝が揺れる。
5	8.0~10.8	28.8~38.9	26.25~35.5	18~24.25	葉のあるシュラブは揺れ始める。池や沼では波頂が明白である。
6	10.8~13.9	38.9~50.0	35.5~45.5	24.5~31	木の枝が動く。送電線の汽笛。傘を開けるのは難しい。
7	13.9~17.2	50.0~61.9	45.5~56.5	31~38.5	木々全体が揺れる。風に逆らって歩くのは難しい。

図2 - ビューフォートスケール

- 電流の流れは非常に激しく、一部のコンポーネントに深刻な内部損傷を引き起こす可能性があります。

高所作業台の使用前および使用中は、その場所を点検してください。以下は、作業場所で起こりうる潜在的な危険です:

- 破片
- スロープ
- ドロップオフや穴
- バンプや床の障害物
- 頭上の障害物
- 不正人
- 高圧導体
- 風や天候の状況
- すべての動作構成において空中プラットフォームによって加えられる荷重に耐える不適切な表面および支持

危険な(分類された)場所で高所作業台を使用する前に、その特定の場所で使用するためにANSI/NFPA 505 が必要とする型式が承認されていることを確認してください。

職場の交通流パターンを知り、理解し、フラッグメン、道路標識、信号に従う。

高所作業台の操作中は、適切な安全対策を講じるために、資格のある作業員を直ちに作業エリアに配置してください:

- 緊急時に役立つ
- 必要に応じて緊急制御装置を作動させる
- 作業台操作員による操縦不能の監視
- オペレータには明らかでない可能性のある障害物や危険を警告してください
- 安定性を危うくする可能性のある軟弱地形、傾斜面、落下物などの監視
- 近くにいる人を監視し、高所作業台を操作している間は、誰も下にいること、積み重ねた人から手が届かないようにすることは絶対にしないでください。

### ▲危険

可動コンポーネント間にピンチポイントが存在する可能性があります。死亡または重傷は、コンポーネント、建物、構造物、またはその他の障害物の間に閉じ込められて発生します。シャーシ、スタック、または作業台を移動する前に、機械の周囲に十分な空間を確保してください。構造物やその他の危険との接触を避けるために、動きを止めるための十分な余裕と時間を確保してください。

常に移動方向を見てください。

- 注意深く、作業場所の状況に合った速度で運転してください。
- 荒れた地面、傾斜地、旋回時には注意してください。
- 作業台以外の場所では、どのような形の馬敷きにも係合したり、ライダーを許可したりしないでください。

作業台には、アクセサリ、容器、工具、その他すべての資材を固定し、不意に落下したり、作業台から飛び出したりしないようにしてください。高所作業台の中や上に属していない物体はすべて取り除いてください。

作業台を他の作業台に置いて安定させないでください。

### ▲警告

事故の可能性は、損傷または誤作動している高所作業台を操作する場合に増加します。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。高所作業台が損傷または故障している場合は、作業を行わないでください。

高所作業台が損傷しているか、正しく機能していない場合は、作業しないでください。有資格メンテナンス担当者は、高所作業台を再び使用する前に問題を修正する必要があります。

### 動作

プラットフォームに出入りするときは、3ポイントのサポートを使用します。たとえば、作業台に登るときは、2本の手と1本の足を使用します。

作業台の下に人がいないことを確認してから、下降させてください。

両足を作業台の床にしっかりと置いておきます。

- コントロールはゆっくりと意図的に操作し、うねりや不規則な操作を避けてください。
- 反対方向に進む前に、必ずコントロールをニュートラルに停止してください。

高所作業台の移動中に取り外したり、作業台から飛び出したりしないでください。

適切に高所作業台を収納し、各作業日の終わり、運搬前、あるいは放置されたままの場合は、許可なく作業しないで固定してください。

### チップオーバーおよび転倒の危険

高所作業台は、すべての操作条件において、高所作業台が負担するすべての荷重に耐えることができる、しっかりした平らな水平な面でのみ操作してください。最大輪重と地圧については、一般仕様表を参照してください。シザースタックは、高所作業台が平らな地面にある場合のみ上げてください。

### ▲危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。落下、穴、傾斜、柔らかい地面、または不整地、その他の転倒の危険の近くで、高所作業用の高所作業台を運転したり、配置したりしないでください。

作業を行う最も安全な方法でない限り、作業台から別の構造物へ、または構造物から作業台へ移し替えないことが最善です。作業環境を考慮して、それぞれの状況を個別に判断してください。作業台から別の構造物に移す必要がある場合は、以下のガイドラインが適用される:

1. 可能な場合は、作業台を屋根または歩行構造物の上に配置して移送を行います。
2. 固定具を片方の構造物からもう片方の構造物に移してから踏み抜きます。
3. 個人の転落防止が必要な構造物に移している可能性があることを覚えておいてください。
4. 作業台出入口を使用し、ガードレールの上や中を登らないでください。

ガードレールシステムのすべての部分が所定の位置にあり、ゲートが閉じていない状態で、高所作業台を操作しないでください。すべての保護ガード、カウリング、ドアがしっかりと固定されていることを確認してください。

作業台の定格プラカードに記載されている作業台積載荷重量を超えないようにしてください。また、Snorkel からの書面による事前の同意なしに、作業台のガードレールを超えて延長する荷物を運搬しないでください。

スノーケルによる書面による承認がない限り、トラック、トレーラー、鉄道車両、浮遊船、足場、または同様の機器から高所作業台を操作しないでください。

高所作業台をクレーン、ホイスト、ジャッキとして、または作業員、工具、資材の配置以外の目的で使用しないでください。

また、ガードレールの上に乗ったり、はしご、プランク、その他の装置を使用して作業台から作業位置を伸ばしたり増やしたりしないでください。

ロープ、電気コード、ホースなどが巻き込まれたり、高所作業台に乗ったりしないように注意してください。

- 作業台またはシザースタックが隣接する構造物またはその他の障害物に引っかかり、正常な動きが妨げられる場合は、制御を逆にして作業台をフリーにします。
- 制御が逆転しても作業台が開放されない場合は、作業台を退避させてから開放しようとします。

#### 電気系統

火災、火花、または火災や爆発を引き起こす可能性のあるその他の危険のない、換気の良い場所でバッテリーを充電してください。

バッテリー充電器が接続されている間は、高所作業台の

機能を操作しないでください。

#### 警告

バッテリーは、爆発的に結合できる水素と酸素を放出します。化学爆発により死亡または重傷を負うことがあります。バッテリーを点検するときは、喫煙したり、裸火や火花を放置したりしないでください。

バッテリー液は、皮膚や目を損傷する恐れがあります。直ちに治療を行わないと、重篤な感染症や反応が起こる可能性がある。バッテリーの近くで作業する場合は、顔面および眼の保護具を着用してください。こぼれた液体はきれいな水で十分に洗い流してください。

- バッテリーには硫酸が含まれており、触れると目や皮膚を傷つける恐れがあります。
- バッテリーの周囲で作業する場合は、フェイスシールド、ゴム手袋、保護服を着用してください。
- 酸が目に触れた場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医学的な注意を喚起してください。
- 酸が肌に触れた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

#### Hydraulic System

油圧システムには、加圧状態の油圧作動油が入ったホースが含まれています。

#### 危険

圧力下で逃げた作動油には、肉体に液体を注入するのに十分な力がある場合があります。ただちに治療を行わないと、重篤な感染症や副作用が起こります。作動油が漏れて怪我をする場合は、直ちに医療を依頼してください。

漏れ出した作動油の前に手や体の一部を置かないでください。油圧の漏れを探するには、ダンボールまたは木片を使用します。

**エンジンおよび燃料の取り扱いに関する注意事項**  
エンジンの安全な操作、メンテナンス、および仕様の詳細については、エンジン製造会社の取扱説明書を参照してください。

エンジン排気には、目に見えず無臭の有害ガスである一酸化炭素が含まれています。呼吸するエンジン排気ガスは死亡または重症に至る恐れがあります。エンジンを密閉された場所や十分な換気のない屋内で運転しないでください。

ディーゼル燃料タンクが空にならないように注意してください。タンクと噴射ポンプの間のラインに空気が入っている場合は、燃料系統のエア抜きを行います。

エンジンを停止する前に、エンジンをアイドル状態に戻してください。

燃料補給中または燃料補給作業の近くでは、喫煙したり、裸火を許可したりしないでください。

エンジンがかかっている間、または熱い間は、絶対にフューエルキャップを外したり、フューエルタンクに給油したりしないでください。高温の機械部品に燃料をこぼさないでください。

タンク充填時に燃料充填ノズルの制御を維持します。こぼれた燃料は、火災の危険性があります。

燃料タンクを過充填しないでください。拡張の余地を確保します。こぼれた燃料は、直ちに清掃してください。

フューエルタンクキャップをしっかりと締め付ける。フューエルキャップが紛失した場合は、スノーケル社の認定済みキャップと交換してください。適切なベントを行わずに承認されていないキャップを使用すると、タンクが加圧される可能性があります。

洗浄の目的で燃料を使用しないでください。

ディーゼルエンジンの場合、運転シーズンに合った正しい燃料等級を使用してください。

### ▲注意

**エンジンクーラントが加圧状態で漏れると、重度の火傷を負う恐れがあります。ラジエーターキャップを外す前にエンジンを停止し、冷却させてください。**

クーラントを追加する前に、エンジンとラジエーターにクーラントを放熱させてください。

### プラカード・デカール

高所作業台には、作業および事故防止のための指示を提供するプラカードとデカールが装備されています。プラカードやデカールが紛失したり、判読できない場合は、高所作業台を操作しないでください。

### 安全通則

この高所作業台は、作業に使用する人、工具、資材を持ち上げるためのものです。頭高以上の作業場(天井、クレーン、屋根構造物、建物など)での修理、組立、割当て用に設計されています。高所作業台の使用または改造は、スノーケル社の承認を得なければなりません。

この高所作業台は断熱されていません。安全な進入距離については、該当する国/政府/地域の規制を参照してください。

規定の許容最大荷重を超えることは禁止されています。

吊り具またはクレーンとしての高所作業台の使用および操作は禁止されています。

本機に許容される手動の力を絶対に超えないでください。

すべての作業台荷物を作業台に均等に分散します。

静止している障害物や動いている障害物、穴、落下、隆起、縁石、破片などの表面の危険のために、最初に作業エリアを調査せず、それらを回避しないで、機械を操作しないでください。運転中または作業台を上下させている間は、決して静止または移動する障害物にぶつかったり、ぶつかったりしないでください。

プラットフォームに出入りするときは、3ポイントのサポートを使用します。たとえば、作業台に登るときは、2本の手と1本の足を使用します。

作業台の乗客は、作業台が動いている間は、ガードレールを押さえたまま、手と指をはさむポイントを監視する必要があります。

本機は、輪荷重を支えることができる面でのみ操作してください。

風速が本機の風定格を超えているときは、本機を絶対に操作しないでください。

風のある状態や突風のある状態で高所作業台を操作しないでください。掲示板、バナー、フラッグなどの風荷重を増加させるようなものを高所作業台に追加しないでください。

緊急時には、非常停止ボタンを押して、電源が入っているすべての機能を停止します。

作業台が上昇しているときにアラームが鳴った場合は、停止し、慎重に作業台を下げてください。本機を安定した水平な場所に移動します。

作業台の手摺りを上げる、作業台の上立つ、または作業台から建物、鉄骨またはプレハブのコンクリート構造物などに踏み込むことは禁止されています。高所にある場合は、絶対に作業台から降りたり立ち入ったりしないでください。

入口ゲートやその他のレール構成部品の取り外しは禁止されています。入口ゲートが閉じていることを必ず確認してください。

作業台が上昇しているときに入口ゲートを開いた状態に保つことは禁止されています。

はしご、足場又は類似の装置を作業台に配置して高さ又は範囲を延長することは禁じられている。

作業台が上がっている間は、積み重ねを遮ることなく、本機の点検整備を絶対に行わないでください。

本機を使用する前に、溶接部のひび割れ、ハードウェアの緩みや欠落、油圧漏れ、ワイヤー接続の緩み、損傷したケーブルやホースがないかを十分に点検してください。

すべてのプラカードとデカールが所定の位置にあり、読みやすい状態であることを確認してください。

損傷、機能不良、または損傷やプラカードやデカールの紛失がある機械は、絶対に使用しないでください。

安全装置をバイパスすることは禁止されており、高所作業台や作業範囲にいる人に危険を及ぼす恐れがあります。

火花や火気の近くでバッテリーを充電しないでください。バッテリーを充電すると、爆発性の水素ガスが発生します。

高所作業床の改造は、Snorkelの承認がある場合に限り、禁止または許可される。

使用後は、キースイッチをオフにしてキーを抜いて、作業台を不正使用から固定してください。

MEWPの公道走行は、国の交通規制の対象となっている。

適切な設計慣行と予防措置を利用しているにもかかわらず、本機の操作には特定の固有のリスクが残っています。

落下防止用アンカーは、国または地域の規則および規格で要求されているように、作業台に設けられています。

機械が、使用中、輸送中、組立中、休止時の解体、試験中、または予見可能な故障時の安定性の要件を満たしていることを確認するために注意が必要です。

事故や故障が発生した場合は、「第10章-緊急運転」を参照してください。高所作業台が損傷していたり、正しく機能していない場合は、作業しないでください。有資格メンテナンス担当者は、高所作業台を再び使用する前に問題を修正する必要があります。

## 第4章 - 安全装置

### 安全装置情報

緊急時の操作制御および手順については、本取扱説明書の第9章「緊急時の操作」を参照してください。

この章に記載されているデバイスは、安全装置です。オペレータと機械に近い他の人の両方のために、作業場の安全性を高めるために機械に搭載されています。

### 警告

これらのデバイスをバイパス、無効化、修正、無視しないでください。各作業シフトの開始時に注意して点検し、それらが正常に機能していることを確認してください(日常点検&保守) 7章を参照)。

不具合が確認された場合は、資格のあるサービス技術者が修理できるまで、ただちにS2255RT / S2755RT をサービスから取り外してください。

### 非常停止スイッチ 作業台操作ボックスで

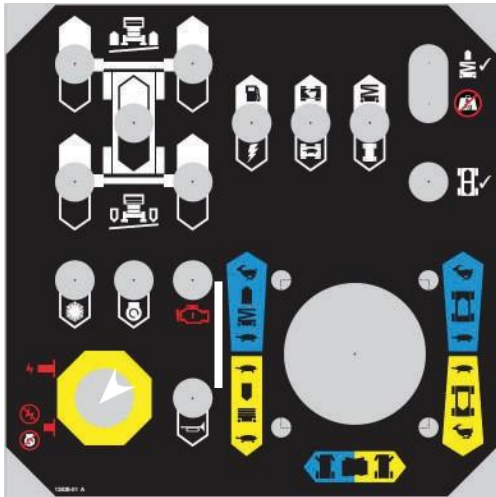


図2.1 - 作業台操作ボックス非常停止スイッチ

大きな赤い非常停止ボタンを押し込むと、機械全体が停止し、エンジンがオフになり、何も動きません。S2255RTを制御するには、このスイッチを外側(オン)にする必要があります。S2755RTを作業台から引き出します(スイッチを引っ張ると飛び出します)。

意図しない操作から保護するために、上部コントロールを使用していないときは、非常停止ボタンを内側に押します。

#### 注意:

作業台の非常停止スイッチを有効にするには、作業台/接地キー切り替えスイッチ(下部制御ボックス上)を作業台に設定する必要があります。

### 地上操作ボックスで



図2.2 - 地上操作ボックス非常停止スイッチ

大きな赤い非常停止ボタンを押し込むと、機械全体が停止し、エンジンがオフになり、何も動きません。非常停止スイッチは、S2255RT / S2755RT上の何かが作動する(スイッチを引くと飛び出す)ために出ている(オンになっている)必要があります。

地上操作が使用されていないときに非常停止ボタンを内側に押すと、意図しない操作から保護されます。

### アラーム

アラームが発生すると、下部コントロールボックスのブザーが鳴ります。上限アラームは、上限コントロールが選択され、アクティブになっている場合にのみ鳴ります。

以下の表に、さまざまなアラーム音のパターンを示します。

	No oil Pressure No Alternator Charge High Water Temperature Overloaded
	Tilted and Elevated
	Axle Switch Open and Elevated
	Lowering or Forward Drive
	Reverse Drive

図2.3 - アラーム音のパターン

### 下降

下降アラームは、作業台が下り、シザーアームアセンブリが閉じていることを機械の近くにいる人に警告します。

#### 注意:

高温、低オイルプレッシャー、またはオルタネーター非充電のいずれかのアラームが発生すると、エンジンは20秒後に自動的に停止します。

高温

高温アラームは、エンジンが過熱していることを警告します。(詳細については、「自動遮断およびサーキットブレーカ」の章5を参照してください。)

油圧の低下

油圧低下アラームは、エンジンを安全に作動させるために、エンジンオイル圧が下限に近いことを警告します。(詳細については、「自動遮断およびサーキットブレーカ 5章」を参照してください。)

オルタネータが充電されていない

このアラームは、オルタネータがバッテリーを充電していないことを警告します。(詳細については、「自動遮断およびサーキットブレーカ」の章5を参照してください。)

ドライブ(リバース)

DRIVE (リバース)アラームでS2255RTを人に知らせる / S2755RTは地面に沿って後進している。このアラームは、DRIVE (正転)アラームの2回速いビープ音を鳴らします。

駆動(前進)

DRIVEフォワードアラームは、S2255RT / S2755RTが地面に沿って前進していることを知らせます。アラーム音は、DRIVE (逆転)アラームの半分の速さで鳴ります。

ロードセンシングシステム

シザースタックが収納位置から上昇するとすぐに、過負荷保護システムがアクティブになります。

- 作業台で定格容量の90%に達すると、過負荷ランプが点灯します。

これは、作業台が定格容量に達していることをオペレーターに知らせる警告です。通常の機能はそのまま残り、本機を使用し続けることができます。

- 作業台で定格容量の100%に達すると、過負荷ランプが点灯し続け、アラームが鳴ります。

これは、定格容量に達し、作業台負荷を軽減する必要があることをオペレーターに知らせる警告です。作業台が作業台から何らかの荷物を取り除くことができるように、通常の機能が維持されます。

注意:

過負荷アラームが鳴った状態で本機を連続運転しないでください。

- 作業台で定格容量の110%に達すると、過負荷ランプが点灯し続け、アラームが鳴り続け、すべての機能が無効になります。

作業者は荷物を作業台から取り除く必要があります。

作業台の荷重が連続して110%を下回った状態が2回以上続くと、通常の機能が再開されます

(2) 秒。

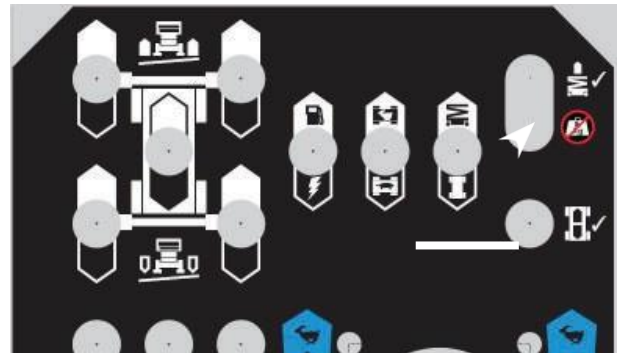


図2.4 - 作業台過負荷ライトレベルセン

サー

レベルセンサーアラームは、機械が水平でないことをS2255RT / S2755RTオペレーターに警告します。このアラームが聞こえたら、ただちに作業台を完全に下げてください。作業台が完全に下がったら、作業台を再び上げる前に、傾きの原因を特定して修正します。

注意:

アラームが鳴っている間は、S2255RT / S2755RTを運転したり、作業台を上げたりすることはできません。

一次転倒抑制装置



図2.5 - 転倒抑制



中間レールとトーボードを含む手すりゲートと組み合わせられて、転倒抑制システムが形成されます。システムは、オペレータが転倒の危険に達するのを防ぎます。すべての手すりが互いに正しく配置され、すべてのピンとボルトが所定の位置にあることを確認してください。

落下抑制システムのいずれかの部分が所定の位置にない場合、システムは損なわれており、オペレーターはリスクおよびハザード解析を再検討し、適切な落下防止ハーネス、ランヤードおよびアンカーの使用など、適切な落下防止を提供する方法を決定しなければなりません。

## 安全プロップ



図2.6 - 安全プロップ

何らかの理由でシザーアームアセンブリに到達する前に、必ずセーフティプロップを起し、次にシザーアームアセンブリをセーフティプロップに下ろしてください。

## スイングゲート



図2.7 - スイングゲート

スイングゲートは、誰かが作業台に出入りする場合を除き、常に閉じておく必要があります。

## 安全管理



図2.8 - ジョイスティックの安全制御

ジョイスティックを作動させるには、安全コントロールを押して保持する必要があります。安全コントロールは、何かが誤ってジョイスティックを押してしまった場合に、ジョイスティックが作業台を動かさないようにします。

安全制御を無効にしようとししないでください。

## バブルレベル

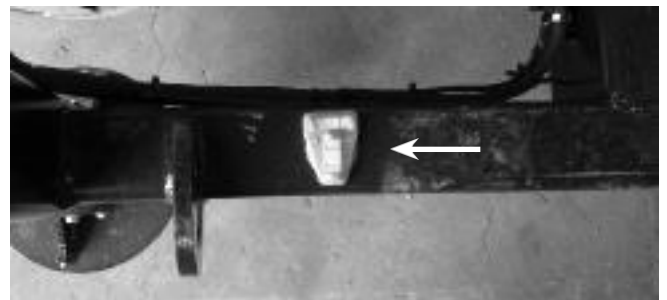


図2.9 - バブルレベル

気泡レベルの検討については、4章のゲージを参照してください。

## オペレータホーン

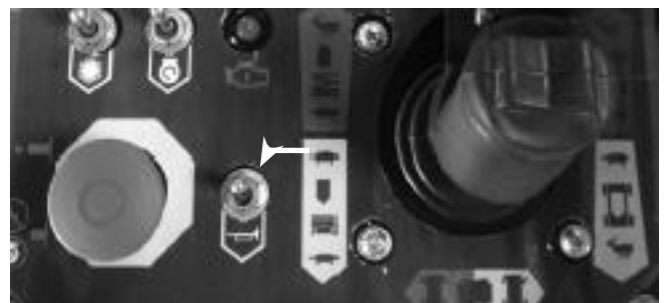


図2.10 - オペレータホーン

オペレータホーンは、主に、アルフォートで作業しているときに地上にいる人の注意を喚起するために使用します。ホーンが作動するには、地上操作ボックスの以下のスイッチを指示どおりに設定する必要があります。

主電源.....ON  
 非常停止.....ON (アウト)  
 セレクタ.....プラットフォーム

安定剤(オプション)



図2.11 - スタビライザ

スタビライザーコントロールは、作業台操作ボックスの左上にあります。スタビライザは、S2255RT / S2755RTの水平調整に使用します(スタビライザの完全な操作手順については、「操作 8章」を参照してください)。

注

S2255RT / S2755RTは、スタビライザを使用する前に、すべての操作条件で高所作業台が負担するすべての荷重力に耐えることができる堅固な表面上に設置する必要があります。

ラフ地形シザーインターロック試験

Snorkel SRT、SR & S/RTシリーズのすべてのSnorkelシザーリフトには、非常に重要な安全機能が装備されています。「スタビライザー/アクスル/シザーインターロック」システムは、作業台が上昇している間にスタビライザーが動かされるのを防ぎます。また、後部アクスルが振動し、スタビライザーがセットされていない場合や機械が傾いている場合は、作業台が上昇するのを防ぎます。

**▲重要**

スタビライザー/シザー・インターロックの正しい操作は、シザーが安全かつ最小限のリスクで操作されることを確実にするために極めて重要です。

これらの機能が正しく作動することを確認するための試験の実施方法に関する詳細な指示は、本マニュアルの「稼動前点検」の章の初めに記載されています。

イネーブルスイッチ

イネーブルスイッチは、選択した作業台移動機能と連動して操作する必要があります。このスイッチの目的は、何かまたは誰かが作業台移動コントロールの1つを誤って押してしまった場合に、作業台が移動しないようにすることです。



図2.12 - イネーブルスイッチ

RCD/ELCB コンセント(オプション)

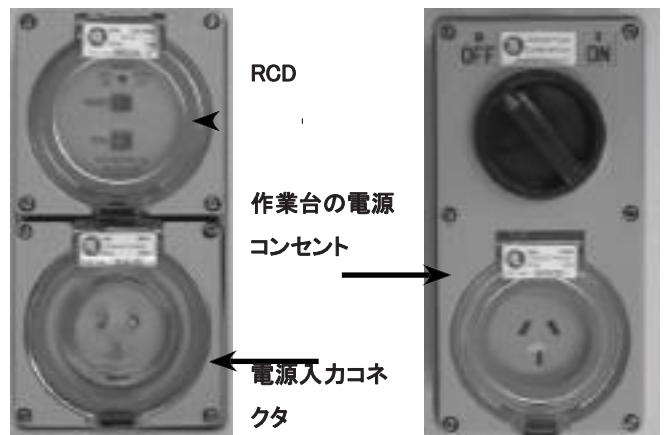


図2.13 - RCD/ELCB ACコンセント

RCD (残留電流デバイス) はグラウンドに配置されており、アースへの短絡から保護されます。

短絡が発生すると、漏電遮断器は作業台コンセントへの230V AC 電源を遮断します。コンセントをリセットするには、作業台ボックスから電動工具のリード線を外し、地面にある漏電遮断器をリセットしてください。それでも問題が解決しない場合は、訓練を受けたサービス技術者に連絡してください。

## 電源コンセント(オプション)

110 ボルトAC または240 ボルトAC 電源のソースをシャーシの右側にある電源入力コネクタに接続します。

マシンによっては、プラットフォームにコンセントがあるが、シャーシに電源入力コネクタがない場合があります。その場合、電源はオプションのAC ジェネレータから供給されます。外部電源は不要です。

エンジンを作動させた状態で、AC発電機スイッチを発電機位置に置き、作業台のコンセントと発電機ハウジングの端のコンセントに電力を供給します。

電気工具を作業台および発電機のコンセントに差し込み、コンセントが正しく動作することを確認するために工具の操作を試みてください。

コンセントには、負荷要件に応じて漏電遮断器(GFCI) または漏電遮断器が装備されています。GFCIをテストするには、次の手順を使用します。

1. テストボタンを押します(図7.8を参照)。

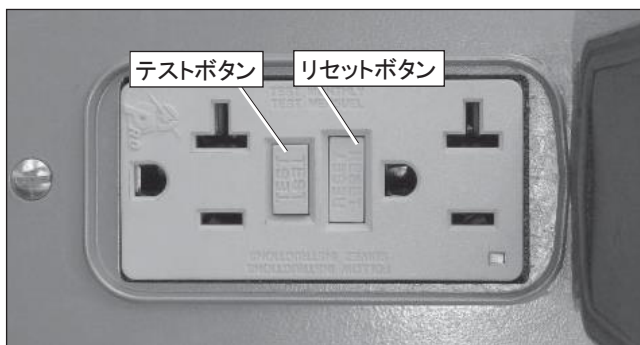


図7.88 - 電源コンセント

2. 電気工具をコンセントに接続し、電源が切れていることを確認します。

- 電源が切れていた場合は、リセットボタンを押して電源を回復します。
- 電源が入っていた場合は、レセプタクルを修理または交換します。

## ライトの点滅

点滅しているランプは、S2255RT / S2755RTが存在し、機械が動いていることを知らせます。ランプは、エンジンがかかっているときに1秒間に約1回点滅します。点滅しているライトにはON/OFFスイッチはありません。S2255RT / の間はオフにできません。

S2755RTが動作中です。

## 落下抑制ランヤード定着点

S2255RT の作業台の床には、3箇所の落下防止アンカーポイントがあります。S2755RT.

引き込んだ状態ではロールアウトデッキの後ろに2つ、伸ばした状態ではロールアウトデッキの後ろに1つあります。

## ⚠ 危険

フォール・レストレイント・アンカー・ポイントは、フォール・レストレイントのみに定格されています。転倒防止装置を取り付けてはならない。フォール・アーレスト・システムの使用により死亡または重傷を負うことがあります。

アンカーポイントは、転落防止装置ランヤードを十分に短く設定して、作業者が転落危険に到達しないようにしながら(すべてのガードレールが所定の位置にいない場合)、何らかの移動の自由を確保できるようにします。

### 注意:

これらのアンカーは、本機を吊り上げたり、結んだりするためのものではありません。作業ルールが必要な場合は、転倒防止装置をアンカーに取り付ける必要があります。

## 第 5 章 - ゲージとディスプレイ

高所作業台には、作業前および作業中に機械の状態を監視するためのゲージがいくつか装備されています。

### 診断センター表示

診断センターLCD ディスプレイ(図5.1 を参照)は、下部コントロールパネルの下部にあります。



図5.1 1 - 下部コントロール

バッテリー切断がオンの位置にあり、下部コントロールで非常停止ボタンが有効になっている場合、LCD ディスプレイには次のように表示されます:

- 高所作業台の積算稼働時間。

この表示は、サービス技術者が、マシンオペレーティングシステムで発生する可能性のあるエラーのトラブルシューティングと診断にも使用します。

### 作業台オーバーロード/リフトイネーブルライト

下部コントロールパネル(図5.1を参照)と上部コントロールパネル(図5.2を参照)に作業台の過負荷とリフト作動ライトがあります。

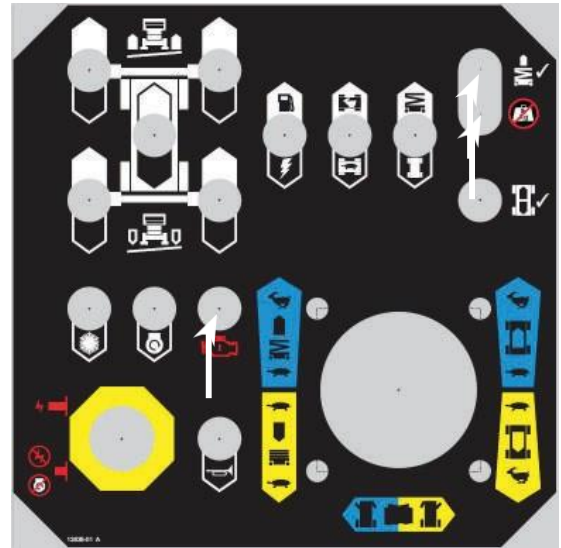


図5.2 2 - 上部コントロール

シザースタックを上げたり伸ばしたりしたときに、高所作業台シャーシが機械の規定の傾斜センサーアラーム設定よりも水平から外れると、アラームが鳴り、リフト有効ライトが点灯しなくなります。

作業台に積載荷重量がある場合、または作業台の積載荷重量を超えている場合は、下部操作パネルと上部操作パネルの作業台過負荷ランプが点灯します。

### エンジン警告灯

上部コントロールパネルの中央にエンジン警告灯が1つあります(図5.2 を参照)。警告ランプは、表示されているように、機械のオペレータにメッセージを表示します:

- 赤-機械とエンジンの作動をできるだけ早く停止し、エンジンの損傷を軽減します。

### 燃料

燃料タンクは、本機左側の燃料キャビネットにあります。燃料タンクは、タンク内の燃料のレベルを示す透明な材料でできています。(図5.3参照)。



図5.3 - 燃料タンク



図5.4 4 - 作動油タンク

**注**

ディーゼル燃料タンクを空で運転しないでください。フューエルラインに空気が入ると、エンジンが始動しにくくなります。

**流体レベル**

リザーバのサイトゲージがレベルを表示します(図5.4 を参照)。

高所作業台を収納位置にし、シザースタックを完全に下にして収納した状態で、液体レベルを点検します。そうでない場合、シリンダーは作動油の大きなリザーバーとして機能し、液面が低すぎるように見えます。液体はサイトゲージで見えるはずです。

温度が93° C(200° F)以上になった場合は、本機の運転を停止し、運転を再開する前に液体を冷却させてください。

**エンジンオイル**

エンジンオイルレベルはディップスティックで測定されます。ディップスティックは、エンジンオイルレベルを正確に判断する唯一の方法です。エンジンオイルレベルは常に、ディップスティックの追加マークとフルマークの間にある必要があります。

## 第6章 - コントロール

### 加工調整部

この章では、各コントロールの機能について説明します。

この章では、コントロールを使用して役に立つ作業を行う方法については説明しません。「操作」の章を参照してください。そのためには、本章を読んだ後に8.

オプション機器のコントロールについては、「オプション」の章11を参照してください。

緊急ブリードダウンコントロールの位置、および緊急ブリードダウン手順の正しい方法については、緊急操作章9を参照してください。

本機的主要な操作機能は、地上操作ボックス(1)または作業台操作ボックス(2)から制御できます。

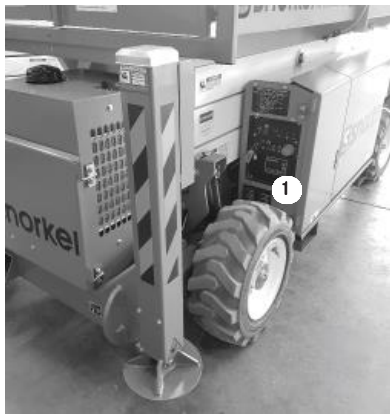


図6.1.1- コントロールボックスの位置、接地位置



図6.1.2コントロールボックスの位置、作業台の位置

### 油圧コンパートメント



図6.2 - バッテリースイッチ

バッテリースイッチ:エンジンが始動するには、これをONにする必要があります。バッテリースイッチがOFFの場合、S2255RT / S2755RTバッテリーのプラス側は電気系統から切り離されます。

本機を放置したままにすると、このスイッチはOFFにロックされます。

### グラウンドコントロールボックス

機械を地面から操作するためのコントロールは、油圧コンパートメントの後部にある機械の右側にあります。

#### 注1

各コントロールの数は図6.3に対応する。

#### 注2

スイッチやインジケーターには、使用しないものもあれば、お使いの機械の構成によって異なる目的を果たすものもあります。

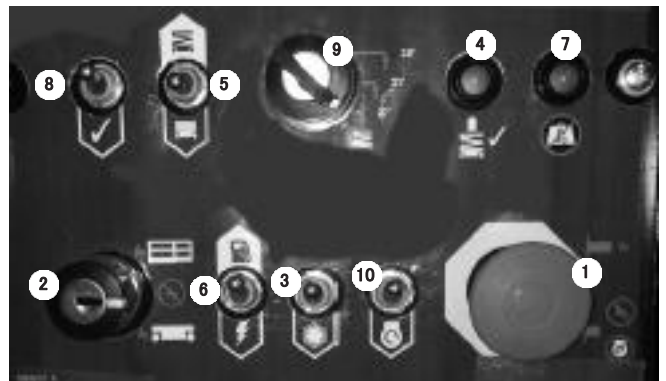


図6.3 - グラウンドコントロールボックスコントロール

1. 緊急停止: 赤色ボタンをいつでも、どのような条件下でも押すと、機械全体が停止します。エンジンが切れ、何も動かない。S225RT / S2755RTを始動・運転するには、このスイッチが切れている(オン)必要があります、スイッチを引くと飛び出します(オン)。地上操作が使用されていないときに非常停止ボタンを内側に押すと、意図しない操作から保護されます。

1. グラウンド/ 作業台キースイッチ:グラウンド、オフ、作業台を選択する3つのポジションスイッチ。キーはオフの位置でのみ取り外し可能で、本機を不正に使用しないように固定するために使用します。
3. チョーク:(オプションガソリンエンジンのみ)周囲の気温が高いガソリンエンジン(冷たいエンジン)を始動するときはいつでも、チョークスイッチを押したままにします。グロープラグ:(ディーゼルエンジンのみ)これは瞬間的な接点スイッチです。  
20秒以内に押し続けてから、エンジンを始動する直前に、外気温のエンジン(冷たいエンジン)をかけてください。
4. リフトインジケータースタイル:ライトが点灯しているときのみ、作業台を上げることができます。このライトが点灯していないときは、作業台が水平でないか、スタビライザーが適切に設定されていないため、作業台は上昇しません。
5. 作業台リフト/下降:このスイッチを上保持すると、作業台が上昇します。このスイッチを下に押し、作業台が下がります。
6. 燃料(オプション):始動前に、お使いの機械のセットアップや使用するものに応じて、FUELスイッチをFuel (上)またはElectric (下)に設定してください。
7. 作業台過負荷インジケータースタイル:このライトが点灯すると、すべての動きが妨げられます。本機を運転する前に、作業台への負荷を軽減する必要があります。
8. イネーブルスイッチ:イネーブルスイッチは、選択した作業台移動機能と連動して操作する必要があります。スイッチの目的は、何か、または誰かが誤って可動コントロールの1つを押してしまった場合に、作業台が動かないようにすることです。
9. スタートスイッチ:このスイッチを下に押ししたままにすると、機械のスターターモーターが作動します。

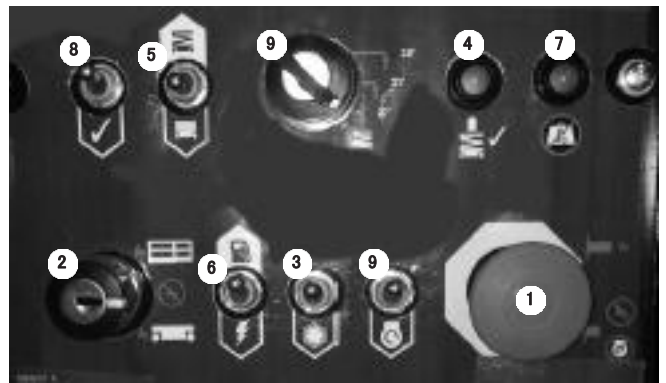


図6.3 3 グラウンドコントロールボックスコントロール

### 作業台操作ボックス

作業台から機械を操作するためのコントロールは、作業台操作ボックスにあります。

**注意:**

各コントロールの数字は図6.4に対応している。

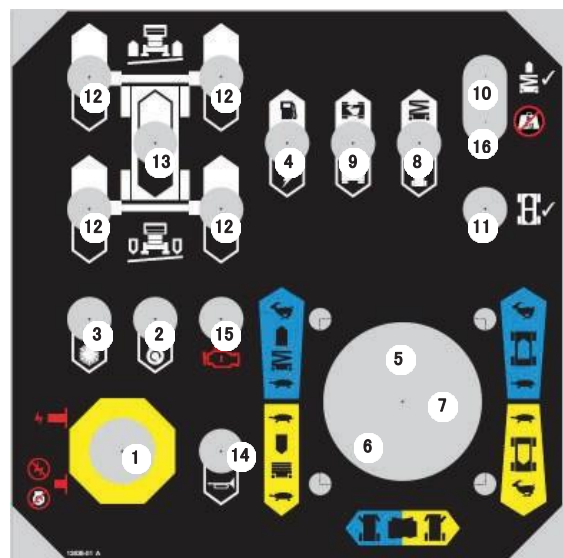


図6.4 - 作業台操作ボックスのコントロール

**注意:**

地上操作ボックスのEMERGENCY STOPスイッチは、作業台操作ボックスのものより優先します。地上操作ボックスのものがS2255RT / S2755RTから外れている場合は、スタートも実行もされません。

**注意:**

作業台/ 地上鍵セレクタスイッチが地上に設定されている場合、非常停止を含むENTIRE 作業台操作ボックスは作動しません。

1. 緊急停止: 赤いボタンをいつでも押すと、どのような状況でも、機械全体が停止します-エンジンはオフになり、何も動きません。作業台操作ボックスから S2255RT / S2755RT を始動して運転するには、スイッチが出ている(オン)必要があります。スイッチを引っ張ると、スイッチが飛び出します(オン)。作業台が1つの位置に長時間留まる場合は、スイッチを押し込みます(オフ)。そうするとエンジンがオフになり、燃料が節約されます。意図しない操作から保護するために、上部コントロールを使用していないときは、非常停止ボタンを内側に押します。
2. スタート: スwitchを長押しするとエンジンが始動します。エンジンが始動したらすぐにスイッチを放します。
3. チョーク:(オプションのガソリンエンジンのみ)周囲温度のガソリンエンジン(冷たいエンジン)を始動するときはいつでもスイッチを押し続けます。  
グロープラグ:(ディーゼルエンジンのみ)これは瞬間的な接点スイッチです。  
周囲温度が低いエンジン(冷たいエンジン)の場合は、エンジン始動直前に20秒間以上押し続けてから離してください。
4. 燃料(オプション): 始動前に、お使いの機械のセットアップや使用するものに応じて、FUEL スwitchをFuel (上) またはElectric (下) に設定してください。
5. 安全制御: ジョイスティックコントローラを作動させるには、安全制御をジョイスティックコントローラに押しつける必要があります。安全制御が絞られていないと、ジョイスティックは動作しません。
6. ジョイスティックコントローラ: LIFT / DRIVEセクターがリフト機能に設定されている場合、ジョイスティックコントローラを後方に引くと作業台が下がり、ジョイスティックコントローラを前方に押すと作業台が上昇します。LIFT / DRIVEセクターが走行機能に設定されている場合、ジョイスティックコントローラを前方に押すとS2255RT / S2755RTが前方に移動し、ジョイスティックコントローラを後方に引くと本機は後方に移動します。さらにコントローラを押ししたり引いたりすると、動きが速くなります(ただし、1回の速度で下げる場合は除きます)。

## 注

ジョイスティックコントローラを使用するときはいつでも、安全コントローラを握ってください。

7. ステアリング: ジョイスティックコントローラ上部のロッカースイッチは、押すスイッチのどちらの側かに応じて前輪を左右に回します。

## 注意:

車輪は一回転してもまっすぐには戻らず、自動車の車輪の仕方と同じである。一回転後に車輪をまっすぐにするには、ステアリングスイッチを使う必要がある。

リフト/ドライブセクター: このスイッチをリフトに設定すると、ジョイスティックコントローラがリフト/下コントローラとなり、作業台を上下させることができます。このスイッチをドライブに設定すると、ジョイスティック・コントローラはスロットル・コントローラとなり、S2255RT / S2755RTを前後に駆動します。本機は同時に走行したり持ち上げたりしません。

9. 速度: クォーターの近くで作業している場合や、本機に新しい場合は、スイッチをタートル(低速)に設定してください。スイッチをウサギ(高速)に設定すると、S2255RT / S2755RTのトップスピードが2倍になります。
10. リフト表示ランプ: このランプが点灯しているときのみ、作業台を上げることができます。このライトが点灯していないときは、作業台が水平でないか、スタビライザーが適切に設定されていないため、作業台は上昇しません。
11. ドライブインジケータライト: ライトが点灯しているときは、作業台を運転することができます。点灯していないときは、作業台が水平になっていないか、作業台が上がっている状態で車軸スイッチが設定されていないか、スタビライザーが完全に引っ込んでいないため、作業台は走行しません。
12. スタビライザー手動スイッチ: 各スイッチはスタビライザーの1つに対応します(スタビライザーが取り付けられている場合)スイッチを後方に引いてスタビライザーを下げ、前方に押ししてスタビライザーを上げます。
13. オートレベル/ストウ・スイッチ: オートレベルまたはオートストウのいずれかを選択して、スタビライザーを自動的に上下させます(スタビライザーが装着されている場合)。
14. ホーンスイッチ: スwitchを押してホーンを操作します。
15. エンジン警告灯: エンジンが始動すると、このインジケータライトが消えます。エンジンがかかっているときにこのライトが点灯した場合は、ただちにエンジンを停止してください。
16. 作業台過負荷インジケータライト: ライトが点灯しているときは、すべての動きが防止されます。本機を運転する前に、作業台への負荷を軽減する必要があります。



## 第7章 - 事前検査

高所作業台を点検することで、潜在的なサービスや安全上の問題が検出される可能性があります。この章には、空中プラットフォームの適切な点検に関する情報が含まれています。また、区域を見落とさないようにするために、章の最後に事前スタート点検チェックリストが含まれています。

### ▲警告

事故の可能性は、損傷または誤作動している高所作業台を操作する場合に増加します。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。高所作業台が損傷または故障している場合は、作業を行わないでください。

事前点検を実施する間に、すべての安全規則、操作説明、デカール/プラカード、適用される国家安全指示/要件をよく読み、理解し、これに従ってください。

職場で高所作業台を使用する前に、各シフトの開始時にプリスタート検査を実施してください。点検場所は、完全な高所作業ができるよう、妨げのない滑らかで水平な面を用意し、機械の最大輪重を支えることができる必要があります。

### 取扱説明書ホルダー

手動ホルダーは、上部操作ボックスの左側の作業台にあります。

取扱説明書ホルダーの点検:

1. 取扱説明書ホルダーがしっかりと所定の位置に固定されていることを確認してください。
2. 適切な取扱説明書がホルダーに入っていることを確認してください。
3. すべてのページが無傷で読みやすい状態でマニュアルが完成していることを確認してください。

### エンジン

本機背面のドアを開きます。

- エンジンを停止した状態で、エンジンとそのコンポーネントを目視点検します。
- ファスナーを点検して、良好な作動状態にあることを確認し、エンジントレイを所定の位置に保持します。

### オイルレベル

適切なオイルレベルは、ディップスティックの2つのマークの間にあります。

オイルレベルの点検:

1. オイルレベルを点検する前に、エンジンが5分以上オフになっていることを確認してください。

これにより、オイルがパンに排出され、オイルレベルをより正確に読み取ることができるようになります。

2. ディップスティックを外して、オイルレベルが2つのマークの間にあることを確認します。
3. 必要に応じて、エンジンを始動する前にオイルを補充してください。

### 注

正しいエンジンオイル等級と重量については、第2章を参照してください。

### クーラント

エンジンは液冷される。

- エンジンが冷えているときは、クーラントタンク上部のサイトゲージにクーラントレベルが表示されるはずで(図7.1を参照)。
- エンジンが作動温度のときは、クーラントが高温レベルになっている必要があります。



図7.1 1 - エンジンキャビネット

クーラントレベルの点検:

### ▲注意

エンジンクーラントが加圧状態で漏れると、重度の火傷を負う恐れがあります。ラジエーターキャップを外す前にエンジンを停止し、冷却させてください。

1. エンジンを停止し、冷えるのを待ってください。
2. クーラントレベルがボトルのFULLマークとLOWマークの間にあることを確認します。
3. 必要に応じて、クーラント貯蔵器からキャップを取り外し、クーラントを補充します。キャップをしっかりと取り付けます。

**注**

エンジークーラントの仕様については、第2章を参照してください。定期的に液体を追加する必要がある場合は、修正が必要な漏れがあることを示しています。

**ラジエータ**

ラジエータの点検:

1. ラジエーターホースとクランプに磨耗、漏れ、損傷がないか点検します。
2. ホースが硬化したり、ひび割れたり、海綿状になったりしていないことを確認します。
3. キャップが所定の位置にあり、しっかり締まっていることを確認します。
4. シャーシの下に漏れたクーラントがないか確認します。クーラント漏れは地上で簡単に確認できます。
5. カバーのラジエーターコアと換気口に、エアフローを妨げるような虫、汚れ、異物が付着していないことを確認してください。

**燃料タンク**

燃料レベルを点検し、必要に応じて燃料を補充します。キャップがしっかりと固定されていることを確認してください。

**注**

燃料等級の仕様については、第2章を参照してください。

**燃料ライン**

燃料ラインの点検:

1. 燃料タンクから始まる燃料ラインの全長を目視点検します。
2. エンジンへのラインをトレースし、漏れや損傷がないか点検します。

**電気系統**

電力は12ボルトのバッテリー1個から供給されます。バッテリーは、本機の右側にある油圧キャビネットにあります(図7.2を参照)。バッテリーは、12ボルトの直流電力を供給して、空中プラットフォームの電気および電気油圧コンポーネントを作動させる。



図7.2 2 - バッテリー

**警告**

バッテリーは、爆発的に結合できる水素と酸素を放出します。化学爆発により死亡または重傷を負うことがあります。バッテリーを点検するときは、喫煙したり、裸火や火花を放置したりしないでください。

**注意**

低電圧の電気システムでも、激しいアーク放電が発生することがあります。感電やコンポーネントの損傷は、通電されている導体との接触によって発生する可能性があります。電気機器を取り扱うときは注意してください。

バッテリーは、エンジンがかかっているときに自動的に充電されます。電気系統の点検および保守を行うときは、バッテリーを含めてください。

**バッテリー端子**

バッテリー端子の点検:

1. 電池の上部、端子、ケーブルの端を確認します。清潔で、腐食していないことが必要です(図7.2を参照)。
2. 必要に応じて、バッテリーの上部を清掃します。ワイヤーブラシまたは端子クリーニングツールを使用して、端子とケーブル端をクリーニングします。
3. すべてのケーブル端が端子にしっかりと固定されていることを確認します。

**ケーブルとワイヤーハーネス**

ケーブル、ワイヤーハーネスの点検:

1. すべてのケーブルと配線に、接続の緩み、断線、絶縁の擦り切れなどの磨耗や物理的損傷がないか目視点検します。
2. 配線の方向が変わると、挟まれる可能性がある箇所配線を点検します。
3. 鋭利なエッジ、挟み込み、スカuffingを避けるために、ケーブルとワイヤが適切に配線されていることを確認します。

**Hydraulic System**

油圧動力はエンジン駆動可変容量形ピストンポンプから供給される。

**危険**

圧力下で逃げた作動油には、肉体に液体を注入するのに十分な力がある場合があります。ただちに治療を行わないと、重篤な感染症や副作用が起こります。作動油が漏れて怪我をする場合は、直ちに医療を依頼してください。

油圧リザーバは、本機の右側にあるカウリングドアの後ろにあります。ポンプはエンジンに取り付けられています。

## 流体レベル 液面の点検:

1. 高所作業台が水平な場所に完全に収納されていることを確認します。
2. 本機の左側にあるカウリングドアを開きます。
3. タンク内に液体が見えることを目視で確認します。

### ▲注意

すべての作動油が油圧システムでの使用に適しているわけではありません。潤滑特性が悪く、部品の摩耗が増大する場合があります。作動油は推奨されているものだけを使用してください。

4. 必要に応じて、フィルターキャップを取り外し、適切な種類の液体を追加します。キャップがしっかりと所定の位置にあることを確認して、キャップを交換します。

### 注

使用する作動油の適正な種類と等級については、第2章を参照してください。定期的に液体を追加する必要がある場合は、修正が必要な漏れがあることを示しています。

## 流体フィルタ

作動油フィルタの状態を点検することは、機械のメンテナンススケジュールの一部であり、オペレータが行うべきではありません。

## ホース、チューブおよび継手

ホース、チューブ、フィッティングの点検:

1. すべての油圧ホース、チューブ、フィッティングに磨耗、漏れ、損傷がないか点検します(図7.3を参照)。



図7.3 3 - ホース、チューブおよび継手

2. 鋭いエッジ、ねじれ、スカuffingを避けるために、ホースが適切に配線されていることを確認してください。
3. チューブにへこみや流体の流れを妨げるような損傷がないか点検します。

- すべてのホースとチューブがサポートブラケットにしっかりと固定されていることを確認します。
- シャーシの下に漏れた液体がないか確認します。油圧作動油の漏れは地上で簡単に確認できます。

### タイヤ・ホイール

タイヤとホイールを目視点検し(図7.4参照)、整備に適していることを確認します。



図7.4 4 - タイヤ・ホイール

フォーム充填タイヤには、プレッシャーデカールやバルブコアはありません。

フォーム充填タイヤおよびホイールの点検:

- ホイールラグナットを点検して、欠落、損傷、緩みがないことを確認します。
- タイヤから泡が出ている大きな穴や切れ目がないか、慎重に検査します。
- アングルアイロンなど、タイヤが開くような大きな埋め込み物を探します。

#### 注

ボルト、ねじ、または釘によって生じる穿孔は、フォーム充填タイヤにとって問題ではない。

### 下部制御ステーション

作業台に作業員がいない状態で、下部コントロールから各コントロールの動作をテストします(図7.5を参照)。



図7.5 5 - 下部コントロールの

#### 操作コントロール

以下の手順に従って、下部コントロールから本機を操作します。

- バッテリー切断スイッチをオンにします。
  - 下部のコントロールで、非常停止ボタンを外側に引きまます。コントロール・セレクタ・スイッチを下のコントロール位置に置きます。
- エンジンがダイスする場合は、エンジンを再始動する前にコントロールスイッチをオフにする必要があります。

### ⚠ 危険

可動コンポーネント間にピンチポイントが存在する可能性があります。死亡または重傷は、コンポーネント、建物、構造物、またはその他の障害物の間に閉じ込められて発生します。プリスタート検査を実行している間は、すべての作業者が高所作業台から離れていることを確認してください。

### ⚠ 警告

事故の可能性は、損傷または誤作動している高所作業台を操作する場合に増加します。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。高所作業台が損傷または故障している場合は、作業を行わないでください。

- 両方向の各機能の動作をテストします。

#### 非常停止

下部コントロールから非常停止ボタンをテストするには:

1. 非常停止ボタンを内側に押すと、電源が切れます。
2. 下方のコントロール機能をテストして、動作しないことを確認します。

### 診断センター表示

下部コントロールパネル(図7.5参照)の診断センター表示を下部コントロールからテストするには:

1. バッテリ切断スイッチをオンにします。
2. 非常停止ボタンを外側に引いてオンの位置にします。
3. LCD 画面のディスプレイが示すはずです:
  - 高所作業台の積算稼働時間。

### ライトの点滅

本機には、シャーンシの前面に取り付けられたフラッシュライトが装備されている場合があります。

点滅灯の点検:

1. 下部のコントロールで、非常停止ボタンを外側に引きます。コントロール・セレクタ・スイッチを下のコントロール位置に置きます。
2. ライトが1秒間に約1回点滅していることを目視で確認します。

#### 注

点滅しているライトにはオフスイッチはありません。ライトを消すことはできません。

### 構造

溶接物および関連するコンポーネントをすべて目視検査します。部品を接続する留め具を点検することが重要です。

#### 溶接物

溶接物の検査:

1. 可動部品間の干渉を引き起こす可能性のある異常な摩耗、摩擦、または変形がないか、すべての溶接物を目視検査します。
2. 構造コンポーネントの溶接部を点検します。シザースタック溶接には特に注意してください。点検する場所は清潔で、汚れやグリースが付着していないことが必要です。
3. 溶接部および母材接合部の溶接部に目に見える亀裂がないか確認します。明るい光を使用して、検査領域を十分に視認できるようにしてもよい。



図7.6 - 作業台  
上部制御ステーション

下部操作パネルから適切に操作されるすべての機能を確認した後、作業台と上部操作パネルを点検します。

#### ガードレールシステム

ガードレールシステムには、以下が含まれています(図7.6参照):

- A トップレール
  - 中央のレール
  - 作業台後部に1つの入口ゲートがあります。
  - 作業台の側面の周囲にあるトーボード。
1. 作業台のすべてのコンポーネントを目視点検します。レールとトーボードがすべて所定の位置にあり、損傷や変形がないことを確認します。
  2. レールとトーボードの溶接部に亀裂がないか目視点検します。
  3. 作業台を所定の位置に固定しているすべてのボルトとナットを目視点検します。これらは存在し、緩みの兆候を示さないようにする必要があります。
  4. ゲートが存在すること、損傷がないこと、自由に動くことを確認すること。

#### 転倒防止アンカー

作業台床には、3つの落下防止アンカーがあります。アンカーの点検:

1. 落下防止アンカーが所定の位置にあり、変形していないことを目視で確認します。
2. 溶接部および母材接合部の溶接部に目に見える亀裂がないか確認します。明るい光を使用して、検査領域を十分に視認できるようにしてもよい。

#### 操作コントロール

上部操作部から本機を操作するには、次の手順を使用します:

1. バッテリ切断スイッチをオンにします。
2. 下部コントロールで、非常停止スイッチをオンの位置にします。コントロールスイッチを上部コントロール位置にします。
3. 上部のコントロール(図7.7を参照)で、非常停止ボタンを外側に引きます。

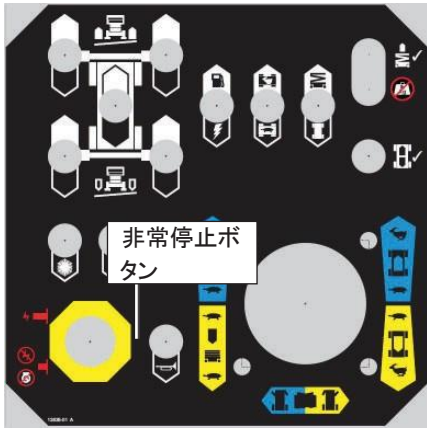


図7.7 - 上部コントロール

- エンジンが始動するまでスイッチを押して始動し、それから放します。

### ⚠ 危険

可動コンポーネント間にピンチポイントが存在する可能性があります。死亡または重傷は、コンポーネント、建物、構造物、またはその他の障害物の間に閉じ込められて発生します。プリスタート検査を実行している間は、すべての作業員が高所作業台から離れていることを確認してください。

### ⚠ 警告

事故の可能性は、損傷または誤作動している高所作業台を操作する場合に増加します。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。高所作業台が損傷または故障している場合は、作業を行わないでください。

5. 各コントロールの動作を上部コントロールから両方向にテストします。

#### 非常停止

上部コントロールから非常停止ボタンをテストするには:

1. 上部コントロールからエンジンを始動します。
2. 非常停止ボタンを内側に押すと、電源が切れます。

#### 電源コンセント

110 ボルトAC または240 ボルトAC 電源のソースをシャーシの右側にある電源入力コネクタに接続します。

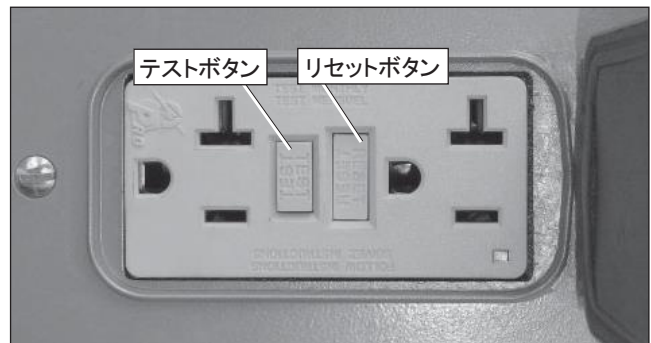
マシンによっては、プラットフォームにコンセントがあるが、シャーシに電源入力コネクタがない場合があります。その場合、電源はオプションのAC ジェネレータから供給されません。外部電源は不要です。

エンジンを作動させた状態で、AC発電機スイッチを発電機位置に置き、作業台のコンセントと発電機ハウジングの端のコンセントに電力を供給します。

電気工具を作業台および発電機のコンセントに差し込み、コンセントが正しく動作することを確認するために工具の操作を試みてください。

コンセントには、負荷要件に応じて漏電遮断器(GFCI) または漏電遮断器が装備されています。GFCIをテストするには、次の手順を使用します。

1. テストボタンを押します(図7.8を参照)。



3. エンジンが停止し、上部コントロール機能が作動しないことを確認します。

#### ホーンスイッチ

ホーンスイッチを上方向に押さえ、警報音が鳴ってエリア内の作業員に警告するようにします。

## 図7.8 8 - 電源コンセント

2 電気工具をコンセントに接続し、電源が切れていることを確認します。

- 電源が切れていた場合は、リセットボタンを押して電源を回復します。
- 電源が入っていた場合は、レセプタクルを修理または交換します。

### 危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。柔らかい、凹凸のある、傾斜のある表面で高所作業台を運転しないでください。

### 警告

安全装置が正常に機能しないと、事故の可能性が高まります。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。安全装置を改造したり、無効にしたり、オーバーライドしないでください。

### 全モーションアラーム

本機には、オールモーションアラームが装備されている場合があります。

- 本機の機能进行操作して、アラームが鳴って空中プラットフォームが動いているエリアの作業員に警告を発するようにしてください。

### ドライブ動作アラーム

機械には駆動運動アラームが搭載されている。

- 本機の機能进行操作して、アラームが鳴って空中プラットフォームが動いているエリアの作業員に警告するようにしてください。

### プラカード・デカール

プラカードやデカールの点検:

1. すべての安全および操作上のプラカードとデカールを点検します。適切な位置にあり、良好な状態であり、読みやすい状態であることを確認してください。
2. プラカードやデカールは石けんと水で掃除し、言葉や絵が見えない場合は柔らかい布で拭いてください。

### ▲注意

溶媒には有害成分が含まれている可能性があります。適切な使用と廃棄については、メーカーのラベルに従ってください。溶剤を使用する場合は、保護手袋、防滴保護メガネを着用してください。

3. 自然生分解性溶媒と柔らかい布を使用して、湿った塗料のオーバースプレーを取り除きます。
4. 空中プラットフォームを操作する前に、紛失または判読不能な彫刻やデカールを交換してください。

プラカードとデカールキットはSnorkel から入手できます。

安全関連のプラカードとデカールは、以下のページに図示されています。



## ラフ地形シザーインターロック試験

Snorkel 'SRT, SR and S/RTシリーズのすべてのSnorkelシザーリフトには、非常に重要な安全機能が装備されています。'Stabiliser/axle/scissor Interlock'システムは、作業台が上昇している間にスタビライザーが動かされるのを防ぎます。また、後部車軸が振動し、スタビライザーがセットされていない場合や機械が傾いている場合は、作業台が上昇するのを防ぎます。

スタビライザー/シザー・インターロックの正しい操作は、シザーが安全かつ最小限のリスクで操作されることを確実にするために極めて重要です。



危険

シザーを作動させる前にインターロックシステムが正しく機能していることを確認するために、毎日作動前に、その他の関連するすべての日常の作動前点検と併せて、以下のテストを実施しなければなりません:

### 作業台上昇テスト時にスタビライザーがロックアウト

1. 本機を安定した平らな場所に置いてください。
2. 作業台操作からエンジンを始動し、暖まるまで待ちます。
3. エンジン回転数がアイドリング状態に落ちるまで(モデルによっては約1.5メートル)、エレベーションスイッチの上に作業台を上げます。
4. 動きのためにスタビライザーの脚を見ながら、右前方スタビライザー延長スイッチを操作します
5. スタビライザーの脚が動いたら、すぐにスイッチを放してください!作業台を完全に下げ、本機をサービスから取り外し、本機を使用しないことを警告する危険タグを他の人に修正してください。最初のインスタンスでは、スノーケル支社または正規代理店に連絡して点検、修理、テストを受けてから、本機を再び使用できるようにしてください。
6. 作業台を収納位置まで下げます

### 車軸非収納時の昇降ロック

7. 車軸スイッチが開くように、1つの後輪がくぼみ(奥行き約100mm)になるように本機をパーキングします。縁石または側溝で十分な場合があります。
8. 作業台を高所より上に上げます(モデルによって異なりますが、約1.5メートル)。
9. この時点で、アラームが鳴り、それ以上のリフトまたは走行が無効になります。

10. 警報が出ない場合、および/または機械がただちにリフト停止を許可し続ける場合!作業台を完全に下げ、本機をサービスから取り外し、本機を使用しないことを警告する危険タグを他の人に貼り付けます。最初の事例では、スノーケル支社または正規代理店に点検、修理、テストを依頼してから、本機を再び使用できるようにしてください。
11. 反対側の後輪についても、手順7～10を繰り返します。
12. 作業台を収納位置まで下げます。

### 傾斜試験時に施錠された挙上

13. シリアルプレートに記載されている傾斜制限を超えることが分かっている機械を地面に停めます。
14. 作業台を高所より上に上げます(モデルによっては約1.5メートル)。
15. この時点でアラームが鳴り、それ以上のリフトまたは走行が無効になります。
16. 警報が出ない場合、および/または機械がただちにリフト停止を許可し続ける場合!作業台を完全に下げ、本機をサービスから取り外し、本機を使用しないことを警告する危険タグを他の人に貼り付けます。最初のインスタンスでは、スノーケル支社または認定代理店に連絡し、点検、修理、テストを行ってから、本機を再び使用できるようにしてください。
17. 作業台を収納位置まで下げます。
18. すべての手順に従い、スタビライザ/シザーインターロックが正しく機能していれば、本機はオペレーターマニュアルに記載されている取扱説明書に従って使用できるようになりました。

## 点検・保守スケジュール

### 注意

定期点検の頻度と程度は、各国の規制に依存する場合があります。

定期点検は、定期的な目視点検と運用点検、および適切な性能を保証する定期的な軽微な調整で構成されています。日常点検は異常摩耗を防ぎ、すべてのシステムの寿命を延ばします。点検整備スケジュールは、本機をサービスに戻す前に、指定された間隔で、長期間保管した後実施してください。点検・整備は、機械的・電気的手順を熟知し、訓練を受けた担当者が行ってください。

### 警告

予防メンテナンスを行う前に、本機の操作を熟知してください。作業台が上昇している状態でメンテナンスを行う必要がある場合は、必ず昇降アセンブリをブロックしてください。

## 第8章 - 操作

高所作業台は、下部コントロールまたは上部コントロールのいずれかから操作することができます。

### ▲危険

高所作業台は電氣的に絶縁されていません。通電中の導体と接触したり、接触不良を起こしたりすると死亡または重傷を負うことがあります。ANSIまたは各国の安全規則で定められている最低安全進入距離より近づかないでください。

可動コンポーネント間にピンチポイントが存在する可能性があります。死亡または重傷は、コンポーネント、建物、構造物、またはその他の障害物の間に閉じ込められて発生します。シャーシ、シザースタック、または作業台を移動する前に、機械の周囲に十分な空間があることを確認してください。構造物やその他の危険との接触を避けるために、動きを止めるための十分な余裕と時間を確保してください。

不安定になると、高所作業台が転倒する可能性があります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。高所作業台は、堅固で平らな場所で操作してください。作業台の位置が急激に変化するような移動速度や不整地は避けてください。落下、穴、傾斜、柔らかい地面、または不整地、またはその他の転倒の危険の近くで、高所作業用の高所作業台を運転したり、配置したりしないでください。

作業台の定格積載荷重量は、作業台で吊り上げることができる作業員と装置の総重量です。

作業荷重は、以下の作業台定格プラカードに記載されています：

- 作業台の後部

### ▲危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。作業台定格プラカードに示されている容量値を超えないようにしてください。

積載荷重量の値は定格吊上荷重を示し、作業台の安定性を示すものではありません。

作業員は、遭遇する特定の状況に応じて高所作業台が適切に設置されていることを確認するための究極の責任を負います。

### 寒い天候の始動

周囲温度が32° F (0° C) 以下の場合は、運転前にエンジンおよび油圧システムのオイルを温める必要がある場合があります。エンジンと油圧オイルが温まる可能性があるまで、高速アイドルリング以上でエンジンを作動させないでください。

冷たい、厚い作動油はうまく流れず、コントロールの動きに反応して遅れることがあります。また、作動油が冷えるとキャビテーションやポンプ破損の原因となることがあります。

油圧システム寒冷時ウォームアップ 機械によっては、ウォームアップスイッチを作動させると、液体が自動的にウォームアップされる作動油ウォームアップシステムがある場合があります。また、機械にオプションのウォームアップシステムが装備されていない場合は、油圧作動油を手動でウォームアップすることもできます。

### ▲注意

すべての作動油が油圧システムでの使用に適しているわけではありません。潤滑特性が悪く、コンポーネントの摩耗を増加させる可能性があるものもあります。作動油は推奨されているものだけを使用してください。

温度が10° F (-12° C) 以下の機械一般仕様で推奨されているように、寒冷地用作動油を使用します。

### ▲注意

すべての作動油が油圧システムでの使用に適しているわけではありません。潤滑特性が悪く、部品の摩耗が増大する場合があります。作動油は推奨されているものだけを使用してください。

温度が10° F (-12° C) 以下の機械一般仕様で推奨されているように、寒冷地用作動油を使用します。

### 運転準備

以下の手順に従って、高所作業台を操作できるように準備してください。

1. 第7章に記載されているように、プリスタート検査を実施します。
2. バッテリー切断スイッチをオンの位置にします。
3. カウリングドアを閉じてラッチをかけます。

### 下部コントロール

下部コントロールは、上部コントロールをオーバーライドします。これは、上側のコントロール非常停止ボタンの位置に関係なく、下側のコントロールを常に使用して作業台を操作できることを意味します。

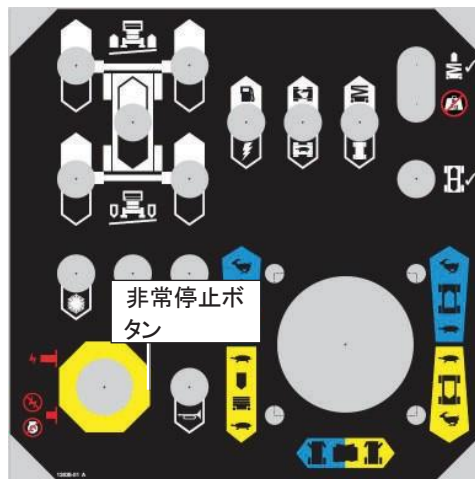
スタックおよび作業台の機能は、下部コントロールから操作することができます。下部コントロールは、高所作業台の初期設定、および試験と点検に使用できます。

下部コントロールを使用してシザースタックまたは作業台機能を操作するには、次の手順を使用します。

1. 非常停止ボタン(図8.1参照)を外側に引き、コントロールセレクタースイッチを下のコントロール位置にします。



図8.1 1 - 下部コントロール



3. いずれかのアンカーポイントに落下防止用ラニヤードを取り付けます。
4. 非常停止を外側に引き出します(図8.2 参照)。

スイッチをオンにするとアラームが鳴り、機械のエンジンが始動中であることを他の人に警告します。

- エンジンが始動するまでスイッチを下向きに押さえ、放します。
2. 地上操作スイッチを押したまま、コントロールトグルスイッチを操作します。

**注**  
地上操作スイッチを作動させてから10秒以内に機械機能を作動させないと、スイッチを放して再び有効位置にするまで機能は作動しません。

3. 適切なトグル・スイッチを希望の方向に押さえます。
4. トグルスイッチを放すと、移動が停止します。
5. 機能が操作されていない場合は、地上操作スイッチをオフの位置に解除します。

### 上部コントロール

上部制御装置は、作業中に高所作業台を運転したり、作業台を持ち上げたり下げたりするために使用することができます。

上側のコントロールを使って機械の機能进行操作するには、次の手順を使用します。

1. 下部のコントロールでは、非常停止ボタンを外側に引いて、コントロールセレクタースイッチを上部のコントロール位置にします。
2. 作業台に入り、ゲートをしっかり閉めます。

**図8.2 2 - 上部コントロール**

スイッチをオンにするとアラームが鳴り、機械のエンジンが始動中であることを他の人に警告します。

- エンジンが始動するまでスイッチを押して始動し、それから離すとオンになります。

**シザースタック操作**

シザースタックまたは作業台の機能进行操作するには、次の手順を使用します。

**図8.3 3 - 作業台****注**

制御スイッチを作動させてから10 秒以内に機械機能进行操作しないと、スイッチを放して再び有効位置にするまで機能は作動しません。

1. ジョイスティックに向かって操作スイッチを引き込みます。
2. 適切なコントロールを希望の方向に保持します。常に移動方向を見てください。
3. 動きを止めるには、コントロールをニュートラル位置まで放します。



## 走行とステアリング

### ▲危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。柔らかい、凹凸のある、傾斜のある表面で高所作業台を運転しないでください。35% を超える等級では、運転しないでください。

### ▲警告

不適切に運転したり、高所作業台を操縦したりすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。作業上の高所作業台を操作する前に、本書および機械のプラカードやデカールに記載されている情報を読み、理解してください。

走行または操舵コントロールを対応する色に向かって動かすと、シャーシが動きます。

- 常に移動方向を見てください。

以下の手順に従って、走行機能とステアリング機能を操作してください。

1. 特定の走行条件に対して、希望する走行範囲を決定します。希望するドライブホイールの動作を達成するために、スイッチを適切な位置に配置します。
  - 堅固で平坦な地表を移動する場合は、高域(ウサギ)を使用します。高レンジは、スタックが収納されている場合にのみ有効にできます。ハイレンジは、高速、低トルク運転用です。
  - 積み込みスロープやその他の急な等級での走行には、低レンジを使用します。安全上の考慮からゆっくりとした機械の動きが求められる場合は、低速運転に低範囲を使用してください。
2. 走行速度はジョイスティックの位置に比例します。
  - ドライブジョイスティックを前方に押し、青い矢印の方向にシャーシを前方に移動します。
  - ジョイスティックを後方に引くと、シャーシが後方に移動します。黄色い矢印の方向です。
3. ドライブモーションを停止するには、ジョイスティックをニュートラルに戻します。
4. ステアリングはドライブジョイスティックで制御します。ジョイスティックは、2 つの前輪を操作して空中プラットフォームを操縦します。
  - 右に操舵するには、ロッカースイッチを右に動かします。
  - 左に操舵するには、ロッカースイッチを左に動かします。

### 注

ステアリングホイールはセルフセンタリングではありません。旋回が終わったら、ステアリングホイールをまっすぐ前にセットします。

5. 目的の場所まで走行したら、非常停止ボタンを押してパーキングブレーキをかけます。

### ドライブ速度

走行速度はジョイスティックの位置に比例します。ジョイスティックを遠くに動かすほど、移動速度が速くなります。不整地や傾斜面を移動する前に、必ず低い範囲を選択してください。

走行速度範囲は、シザースタックの位置を感知するリミットスイッチを介して連動します。

- シザースタックを上昇させると、ドライブレンジスイッチの位置に関係なく、最も遅いドライブ速度のみが働きます。

### ▲警告

安全装置が正常に機能しないと、事故の可能性が高まります。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。安全装置を改造したり、無効にしたり、オーバーライドしないでください。

シザースタックが収納位置から外れているときに、時速 0.75 マイル(20 秒で 22 フィート)より速く走行する場合は、高所作業台を使用しないでください。

### ドライブ動作アラーム

ドライブモーションアラームは、機械の駆動中はいつでも大きな断続的なビープ音を鳴らします。

### 作業台過負荷検知システム

作業台が一杯になると、下部および上部操作パネルの作業台過負荷ライトが点灯します(図 8.1 および図 8.2 を参照)。

作業台の過負荷制限を超えると、すべての機能が上下のコントロールから停止します。アラームは断続的に鳴り、作業台の過負荷ライトは、過剰な負荷が作業台から取り除かれるまで点灯します。その時、機械の機能は再び動作します。

シザースタックが収納位置から上昇するとすぐに、過負荷保護システムが作動します。

- 作業台で定格容量の 90% に達すると、過負荷ランプが点灯します。

これは、作業台が定格容量に達していることをオペレーターに知らせる警告です。通常の機能はそのまま残り、本機を使用し続けることができます。

- 作業台で定格容量の100%に達すると、過負荷ランプが点灯し続け、アラームが鳴ります。

これは、定格容量に達し、作業台負荷を軽減する必要がありますことをオペレーターに知らせる警告です。作業台が作業台から何らかの荷物を取り除くことができるように、通常の機能が維持されます。

#### 注意:

過負荷アラームが鳴った状態で本機を連続運転しないでください。

- 作業台で定格容量の110%に達すると、過負荷ランプが点灯し続け、アラームが鳴り続け、すべての機能が無効になります。

作業者は荷物を作業台から取り除く必要があります。

作業台の荷重が連続して110%を下回った状態が2回以上続くと、通常の機能が再開されます(2)秒。

機械の操作中に作業台過負荷検知システムが作動した場合、またはシステムがエラーモードになっている場合

### ▲ 危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。作業台定格プラカードに示されている容量値を超えないようにしてください。

機械が収納位置にある状態で機械を運転しているときは、過負荷検知システムは作動しません。これにより、粗雑な地面状況による過負荷をシステムが検知することなく機械を駆動することができます。

機械動作中にシステムの繰り返しトリップをなくすために、以下の機械機能には5秒間の遅延があります:

- エンジン始動
- 作業台から余分な荷物を取り除きます。

### ▲ 警告

安全装置が正常に機能しないと、事故の可能性が高まります。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。オーバライドスイッチは、すべてのコントロールが解除され、ニュートラル位置にある場合にのみ使用する必要があります。ゼロまたはニュートラル状態が達成できない場合は、緊急停止を押し下げ、下部コントロールで補助を得てください。

### グレーダビリティ

機械の傾斜性とは、高所作業台が実際の条件下で移動することができる最大傾斜をいう。数学的計算に基づいているが、実用化も考慮している。

傾斜面で機械を運転するとき、いかなる瞬間でも、理論的傾斜を達成するのに寄与する要因の少なくとも一つは、全くではないとしても、最適な性能を発揮しないであろう。例えば、タイヤの接触は、各駆動輪において同じではないか、または傾斜状態が最適ではない場合があり、それは、牽引力の喪失を可能にするであろう。

#### パーセント対比傾斜度

傾斜性は、パーセンテージとして参照されることが最も多い。この値は、100%等級を表す傾斜角度35°に基づいています。

角度インジケータ、つまり傾斜計は、傾斜のパーセントではなく、度単位で傾斜の角度を測定することがよくあります。そのため、図8.5に示すように、傾斜のパーセント傾斜と傾斜角の度合いの関係を理解することが役立つかもしれない。

### ▲ 危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。勾配が35%を超える斜面や、斜面の状況が運転を危険にさらす恐れのある場所では、運転しないでください。

機械を斜面で駆動しようとする前に、駆動範囲スイッチをトルクモード位置にします。

空中作業台は、斜面でのみ走行するか、空中作業台の等級能力が35%以内の傾斜面、または積載用スロープでのみ走行してください。

パーセント等級を計算する:

- 不明な等級に登ろうとする前に
- 斜面が高所作業台の実際の等級能力の範囲内にあるかどうかを判定する誤作動があると考えられる場合。

#### パーセント等級の計算

パーセント等級は、傾斜の高さ(上昇)を長さ(ラン) x 100で割った値に等しくなります。図8.6を参照してください。

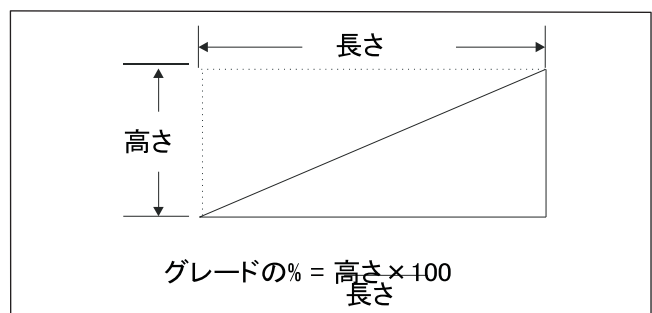


図8.6 6 - パーセント等級式

等級は傾斜計で測定するか、巻き尺、レベル、直線2×4を使用して測定することができます。傾斜計を使用する場合は、必要に応じて変換図を参照してください。

傾斜計なしで等級を測定するには、以下の手順で行います。

1. 2×4を斜面と平行に敷いた状態で、2×4の上に縦方向に水平を敷きます。
2. 下り坂の端を持ち、ボードが水平であることを示すレベルまで2×4を起こします(図8.7を参照)。

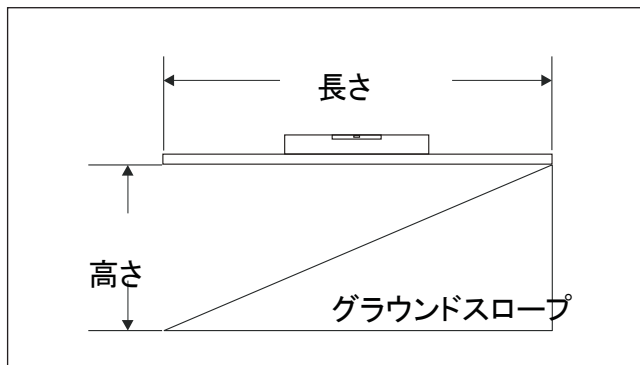


図8.7 7 - パーセント等級の計算

3. テープメジャーを使用して、2×4の端から接地までの距離(高さ)を測定します。高さの距離を記録します。
4. 2×4の長さを測定し、この測定値を記録します。
5. 図8.5の公式を用いて、等級のパーセントを計算する。

### 機械のグレーダビリティ

機械空中プラットフォームのためのグレーダビリティ仕様は35%である。35%の実際の視認性は、ほとんどの通常の作業条件では、機械は19度の角度で斜面を走行できることを示しています。

### 電源コンセント

作業台の電源コンセントには、2、3ピン、110ボルトのAC電気コネクタがあります。それらの結合出力は、15アンペアのサーキットブレーカーによって制限されます。

外部電源を使用して、またはオプションのAC発電機を操作して、コンセントに電力を供給することができる。

コンセントを使用するには、ターンテーブル左側の電源入力コネクタに電源プラグを差し込みます。高所作業台を移動する前に、電源プラグを抜いてください。

### 交流発電機

オプションの発電機は、エンジンが作動していて機械が静止している場合のみ、電源コンセントに電力を供給します。発電機スイッチが発電機位置にある場合、機械の機能は作動しません。

エンジンをかけ、マシン/ジェネレータースイッチをジェネレーターの位置にします。

発電機が作動している間、エンジンはハイアイドルで作動します。エンジンが作動しており、スイッチが発電機の位置にある限り、発電機は作動し続けます。

### エアライン

オプションのエアラインを使用して、作業台でツール操作のエアを導くことができます。

- 入力コネクタは本機の左側にあり、出力コネクタは回転子ガードの作業台にあります。
- ラインの最大使用圧力は250psi (1,723kPa) です。

空気ラインは、水または不凍液などの流体を伝導するために使用されてもよい。エアラインを使用して他の流体を導通させる前に、適合性情報についてスノーケルにお問い合わせください。

### ▲ 注意

エアライン内の液体は、一部のエアツールや凍結を損傷し、ラインを損傷する可能性があります。使用後、エアラインをドレンしてブローし、流体を導いてください。

エアラインのドレン排出は、次の手順で行ってください。

1. ターンテーブル左側の入力コネクタを閉じます。
2. 作業台の出力コネクタを開きます。
3. スタックを少し持ち上げます。
4. 入力コネクタを開きます。
5. 液体をラインから排出させます。
6. スタックを下げ、両方の接続部を閉じます。

### 作業台容量

作業台の定格積載荷重量は、作業台で吊り上げることができる作業員と装置の総重量です。作業荷重は、作業台後部のトーボードに取り付けられている作業台定格プラカードに記載されています。

### 使用後の注意

1. 作業台が完全に下がっていることを確認します。
2. 本機は、できればカバーの下に、バンドル、子供、および不正な操作を避けて、しっかりとした平らな場所に駐車してください。
3. コントロール・セレクタ・スイッチをOFFにし、不正操作を防止するためにキーを取り外します。



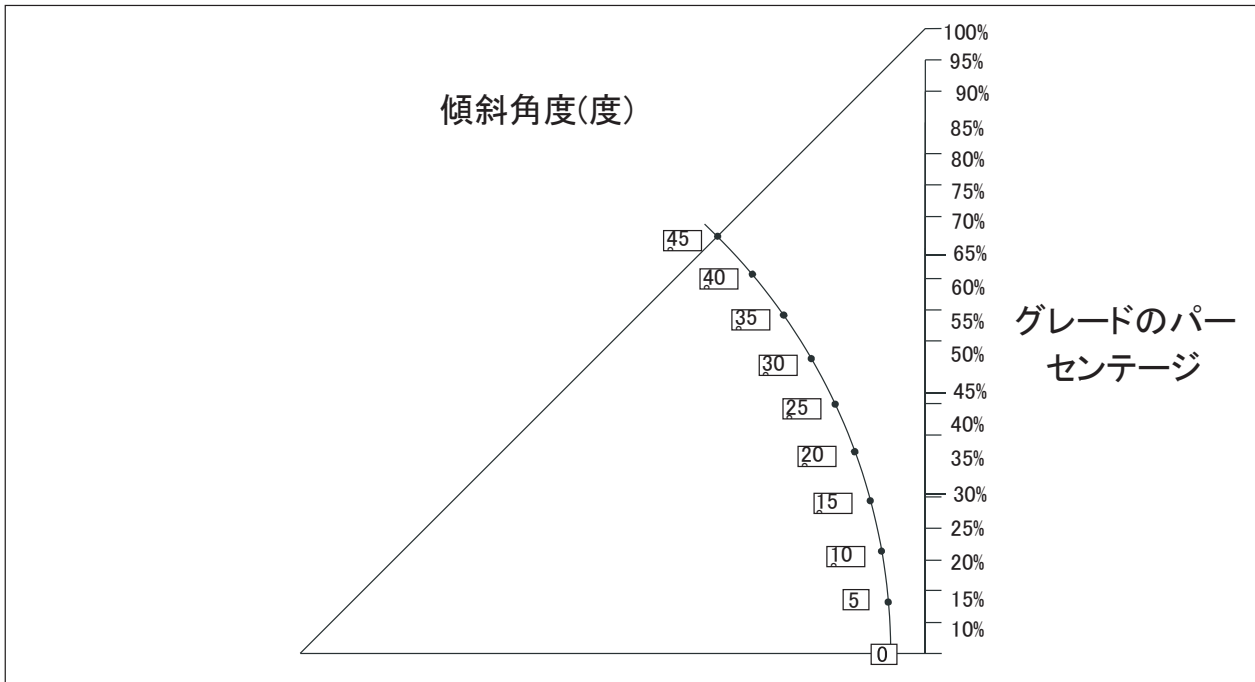


図8.5 5 - 傾きパーセント/度変換

## 第9章 - 収納と搬送

高所作業台のおおよその重量を確認してください。

許可なく使用したり損傷したりしないように、各作業日の終わりに高所作業台を適切に収納してください。また、輸送中は適切に収納する必要があります。

### ストーイング

適切に収納された位置を以下に示します。



図9.1 1 - 収納位置

空中作業台を適切に収納するには、以下の手順に従ってください。

1. 作業台を下げます。
2. エンジンに負荷がかかったばかりで高温になっている場合は、始動スイッチをオフにする前に5分間アイドリングさせます。
3. 本機にそのオプションが装備されている場合は、スタートスイッチをオフにして、作業台操作カバーを上部操作パネルの上に置きます。
4. 下部管理非常停止ボタンを内側に押します。コントロール・セレクターを中央の位置に置き、キーを取り外します。
5. バッテリー切断スイッチをオフにします。

### 運搬

高所作業台は、輸送車両上で移動させることができる。特定の状況に応じて、高所作業台は、トラック又はトレーラーのような車両に駆動され、巻き上げられ、又は吊り上げられ得る。運転は好ましい方法である。

### ▲危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。35%を超える傾斜面や、傾斜面の状況によって運転が危険な状態になる可能性のある場所では、本機を運転しないでください。

ランプの傾斜が高所作業台の等級能力の範囲内にある場合は、高所作業台を輸送車両に乗せます。

35%の等級は、水平長10■(3.05m)で54■(1.4m)の垂直上昇です。

本機の等級能力を超える傾斜地では、ウィンチを使用して空中作業台を積み降ろしします。ランプの状態が運転を危険にさらす可能性がある場合には、ウィンチを使用することもできる。

高所作業台の積み込み、積み下ろし、および運搬に使用する装置には、十分な容量が必要です。第2章を参照して、

子を取り付けます。

ユーザーはすべての責任を負います:

- 適切な輸送方法の選択。
- 輸送および固定装置の適切な選択と使用を選択すること。
- 使用する機器が高所作業台の重量を支えられることを確認してください。
- 使用者、DOTおよび/またはその他の州法もしくは連邦法のすべての製造者の指示および警告、規制、および安全規則が遵守されていることを確認する。

### ドライブ

以下の手順に従って、高所作業台を輸送車両に乗せます。

1. 輸送車両の位置は、積載用スロープとまっすぐになるようにしてください。
2. 機械を積み込んでいる間は、車両のホイールをチョックしてランプから離れないようにしてください。
3. 作業台から不要な工具、材料、またはその他の緩んだ物体を取り除きます。
4. 前輪がランプに最も近い状態で、本機をローディングランプの足元まで走行させます。本機がランプの中心にあり、ステアリングホイールが真っ直ぐになっていることを確認してください。
5. 本機のホイール、積み込みスロープ、輸送車両が整列していることを確認します。

### 危険

高所作業台は、不安定になると転倒する恐れがあります。転倒事故により死亡または重傷を負うことがあります。グレードを上下にドライブする前に、ドライブレンジを低に設定します。

6. ドライブレンジスイッチを低速位置にします。
7. 旋回を最小限に抑えながら、高所作業台を直線で輸送車両に乗せ、等級遷移を通過させる

### Winching

1. 積載後、SS2255RT / S2755RT が前進しないように、輸送車両の位置を確認します。
2. 作業台を完全に下げ、延長デッキを収納します。
3. 本機が積み込み用スロープとキャリアビークルベッドの中央にあり、ステアリングホイールがまっすぐになっていることを確認します。
4. シャーシの前面(ステア)端のタイダウンラグにウィン

5. 油圧モーターの損傷を防ぐため、パーキングブレーキを解除し、フリーホイールバルブを開きます。緊急運転9章の押し込み手順を参照してください。
6. 輸送車両に本機をウインチで取り付ける。
7. フリーホイールバルブを閉じ、パーキングブレーキをリセットします。
8. これらの手順を逆にして油圧システムをリセットします。

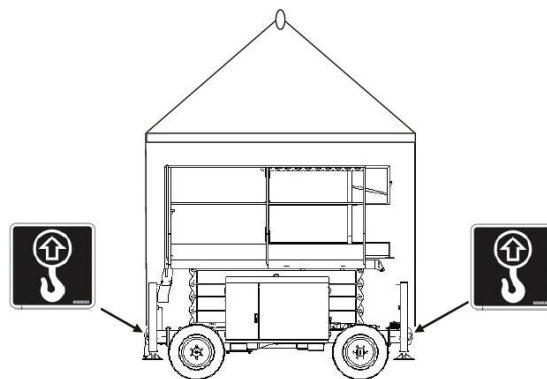


図9.4 4 - リヤタイダウン/リフティングラグ

### 巻上げ

高所作業台を吊り上げるときは、吊りラグに取り付けられた4点スリング構成を使用してください。スリングをシザースタックまたは作業台に取り付けると、機械が損傷するおそれがあります。

### 警告

不適切な機器および/または吊り上げ技術を使用して高所作業台を吊り上げると、事故の可能性が高まります。このような事故により死亡または重傷を負うことがあります。高所作業台を吊り上げるときは、適切な機材と吊り上げ技術を使用してください。

吊り上げる前に、高所作業台の重量と吊り機器の容量を把握しておいてください。

- 吊上げ装置には、本機を支持するために使用されるホイストまたはクレーン、チェーン、ストラップ、ケーブル、フック、シーブ、シャックル、スリング、およびその他のハードウェアが含まれます。
- 空車重量はシリアル番号のプラカードに刻印されており、第2章に記載されています。

ユーザーはすべての責任を負います:

- 使用する機器が高所作業台の重量を支えられることを確認してください。
- 使用者および/または州もしくは連邦の法律のすべての製造者の指示および警告、規制、および安全規則に従うことを確認する。

以下の手順に従って、高所作業台を輸送車両に吊り上げます。

1. 高所作業台を適切に格納します。
2. フロントリフティングラグ(図9.2を参照)とリアリフティングラグ(図9.4を参照)を点検し、クラックがなく良好な状態にあることを確認します。本機を吊り上げる前に、資格のあるサービス技術者に損傷の修理を依頼してください。

3. 作業員、工具、資材、またはその他の緩んだ物体をすべて作業台から取り外します。
4. ボルトで固定したシャックルを使用して、チェーンまたはストラップをリフティングラグに接続します。

吊りラグにスリングケーブルを通さないでください。

- ケーブルの損傷および/または故障は、ケーブルがラグの鋭い角に接触することによって発生する可能性があります。
  - リフティングラグの穴にコーナープロテクターを入れる効果的な方法はありません。
5. チェーン、ストラップ、またはケーブルがスタックに接触しないように、十分な長さのスペルダーパーを使用します。
    - ケーブルを使用する場合は、ケーブルの損傷を防ぐために、硬いコーナープロテクターをケーブルが鋭利な角に接触する任意の箇所で使用してください。
    - 本機の損傷を防ぐために、スペルダーパーの慎重なリフティングが必要です。
  6. 各チェーンまたはストラップの長さを調整して、地面から浮かせたときに空中作業台が水平に保たれるようにします。
  7. ホイストまたはクレーンを使用して、高所作業台を慎重に持ち上げ、輸送車両に配置します。

### 輸送の確保

次の手順に従って、輸送車両に高所作業台を固定します。

1. ホイールをチョックします。
2. 作業員、工具、資材、またはその他の緩んだ物体をすべて作業台から取り外します。
3. 下部制御装置の非常停止スイッチをオフの位置にします。コントロール・セレクターを中央の位置に回し、キーを取り外します。
4. バッテリー切断スイッチをオフにし、カウリングドアを閉じてラッチを掛けます。

### ▲注意

ラチェット、ウィンチ、カムアロングは、機械コンポーネントを損傷するのに十分な力を生み出す可能性がある。高所作業台を輸送車両に固定する際は、ストラップやチェーンを締めすぎないようにしてください。

5. チェーンまたはストラップを使用して、固定用ラグを取り付けポイントとして高所作業台を輸送車にしっかりと固定します。適切なタイダウンと運搬は運搬業者の責任である。

### 保管

本機を保管する場合、または保守点検から取り外す場合は、1週間以内は保守点検が不要です。

機械の機能が1週間以上サイクリングされない場合:

- 露出したシリンダロッドに、軽くて白いリチウムグリースを塗布します。
- 定期的に充電してください

## 緊急時の操作手順

以下の手順は緊急時の手順のみです。通常の操作には使用しないでください。その目的は、S2255RT / S2755RT が始動しないとき、またはその他の何らかの問題がプラットフォームを通常の方法で下降させ続けているときに、プラットフォームとオペレーターを安全に地面に降ろすこと、またはモーターが始動しないときにS2255RT / S2755RT を安全な場所に近距離移動することです。

S2255RT / S2755RTには3種類の緊急運転形態があります。非常停止、非常ブリードダウン、押し込み。

各々は、以下の別個のセクションでカバーされる:

### 非常停止

機械には2つの非常停止スイッチがあります。

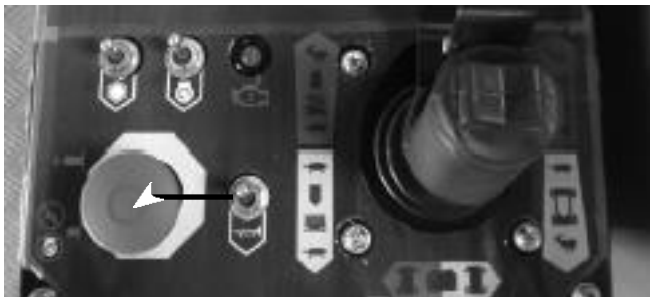


図9.1 - 作業台操作ボックス非常停止スイッチ



図9.2 - 地上操作ボックス非常停止スイッチ

### ⚠ 警告

作業台/ 地上鍵セクタスイッチが地上に設定されている場合、作業台操作ボックス全体が緊急停止を含む動作不能になります。

いずれかの非常停止スイッチ(図9.1 & 9.2参照)をいつでも押すと、機械全体が停止し、エンジンがオフになり、何も動きません。

#### 注

非常停止スイッチを作業台で有効にするには、作業台/ 地上選択スイッチを作業台に設定する必要があります。

機能的には、非常停止スイッチは主電源スイッチをオフにするのと同じことを行います。非常停止スイッチは、キースイッチよりも見つけやすく、使用速度が速いように設計されています。

作業台操作ボックスまたは地上操作ボックスの非常停止をリセットするには、引っ張って外に飛び出します(オン)。

その後、通常の方法でS2255RT / S2755RT エンジンを再始動できます。

### 緊急ブリードダウン

S2255RT / S2755RTプラットフォームは、作業台操作ボックスに電気が供給されていればいつでも作業台操作ボックスから下降させることができます。S2255RT / S2755RTエンジンは作動している必要はありません。

作業台から作業しており、エンジンが金型で再始動できない場合は、以下の手順に従います:

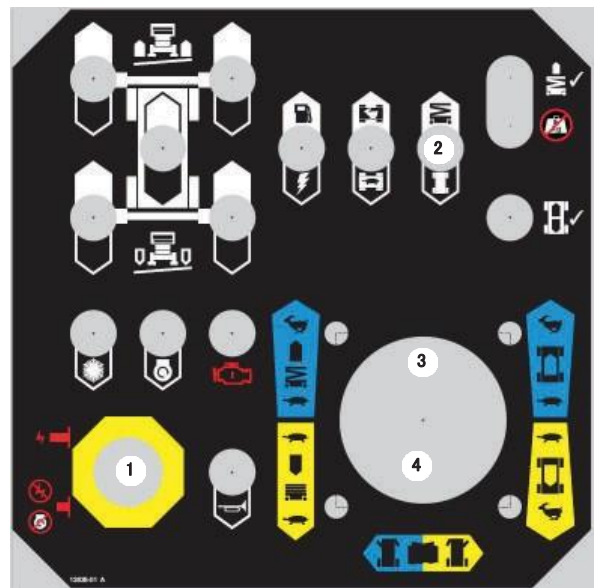


図9.3

1. 非常停止スイッチ(1)が引き出されている(オンになっている)ことを確認してください(図9.1および9.3参照)。
2. セクタスイッチ(2)(図9.3参照)を作業台機能(上)にセットします。

1. 安全コントロール(3) を押し、ジョイスティックコントローラ(4)(図9.3 参照) を後方に引きます。作業台が下がるはずですが、下がらない場合は、地上の誰かから助けを求めてください。

地上にいる人は、以下のことを行ってください:

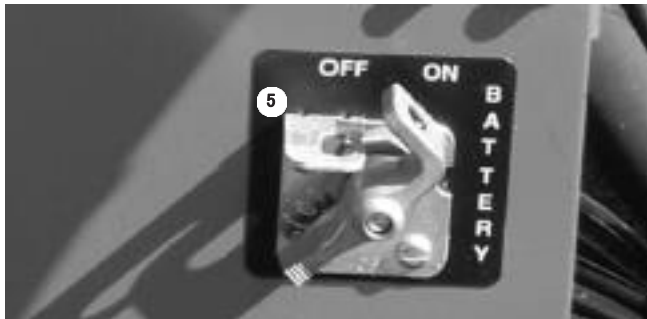


図9.4

- バッテリースイッチ(5) がオンになっていることを確認します(図9.4 を参照)。



図9.5

- 非常停止スイッチ(6)(図9.5参照)がオン(アウト)になっていることを確認します。
- セレクタスイッチ(7) が作業台(上) に設定されていることを確認します(図9.5 を参照)。
- バッテリースイッチ(5)、非常停止(6)およびセレクタスイッチ(7)がすべて正しく設定されていて、エンジンが作業台操作ボックスから始動しない場合は、セレクタスイッチ(7)を地上(下)に設定し、作業台を地上操作ボックスから下ろそうとします。

### ⚠ 危険

挟まれたり、押しつぶされたりする危険性があります。次のステップで作業台が下がり、シザーアームが閉じます。身体のすべての部分をシザーアームから離し、作業台の下から離してください。

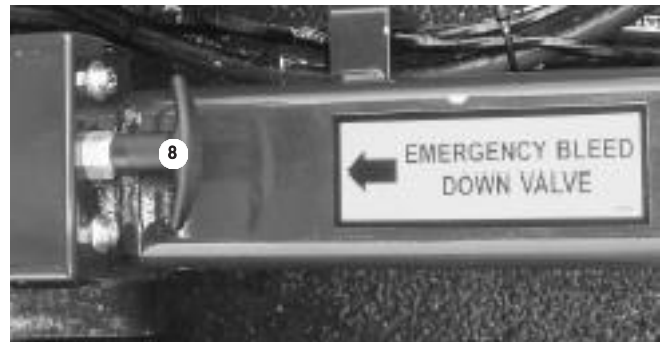


図9.6 - 手動ブリードダウンコントロール

- 作業台が下がらない場合、地上にいる人は、シャーシの前面にある手動ブリードダウン(8) (図9.6 を参照) を使用する必要があります。作業台を下げるには、作業台が完全に下がるまでケーブル(8) を引っ張ります。

### 注

作業台が下降しない場合は、認定を受けたトレーニングを受けたサービス技術者に問題を参照してください。

### 押当て/牽引

収納時には、機械を安全に押ししたり、牽引して固い表面を水平にすることができます。



図9.7

1. バッテリースイッチ(1) をオフにします(図9.7 を参照)。

1. バッテリースイッチ(1) をオフにします(図9.7 を参照)。



図9.8

2. 地上操作ボックスで、非常停止スイッチ(2) をオフに設定し、主電源スイッチ(3) をオフにしてキーを取り外します(図9.8 を参照)。

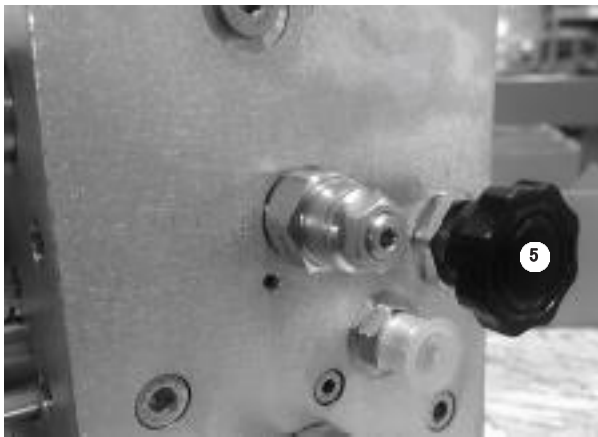


図9.9

3. 油圧コンパートメントの内部で、フリーホイーリングバルブ(5) をノブが止まるまで反時計回りに回して開きます(図9.9 を参照)。



危険

暴走S2255RT / S2755RTは、死亡または重傷を負う恐れがあります。次のステップでは、S2255RT / S2755RT ブレーキが解除されます。機械が水平な場所にあるか、機械を等級で安全に制御できる能力を持つ別の車両にしっかりと取り付けられている場合以外は、次のステップに進まないでください。

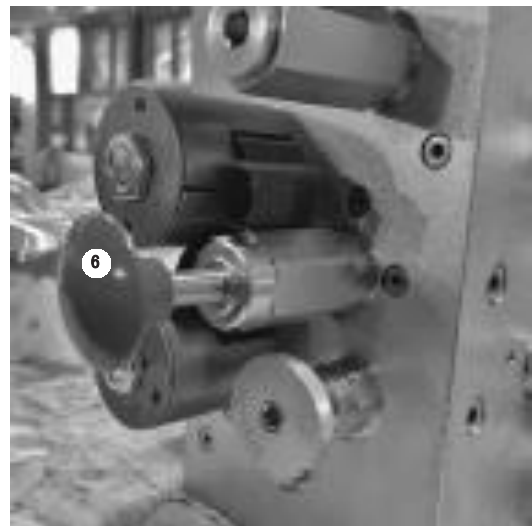


図9.10

4. ノブを時計回りに回しきって、ブレーキリリースバルブ(7) を閉じます。ハンドポンプ(6) が固くなるまで、またはブレーキが解除されるまでポンピングします。これで、本機を押ししたり牽引したりする準備が整いました。



注意

S2255RT / S2755RT ドライブモータは、機械を時速2マイル(3.2km/h)より速く押す(または引っ張る)と破損します。作業員の安全上の考慮事項に従わない限り、時速2マイル(3.2km/h)より速く押さないでください(または引っ張らないでください)。



図9.11

5. ユニットが安全に押し込まれ/牽引されたら、ブレーキ解除ノブ(7) を反時計回りに回して開き、フリーホイールバルブを閉じます  
(5) 完全に(図9.9参照)。

これで、ユニットは通常の動作の準備ができました。



## 第 11 章 - トラブルシューティング

トラブルシューティングチャートを使用して、機械の動作が中断される可能性のある状況を特定し、排除することができます。問題を修正できない場合

リストに記載されている処置を行い、本機を収納してサービスから取り外します。修理は有資格の保守担当者が行う必要があります。

### トラブルシューティングフローチャート

症状	推定原因	処置
エンジンは下部管理または上部管理から始動しません。	燃料が切れています。エンジンがクランクし、給します。スタートを試しますが、スタートしません。	正しい種類の燃料を補給した後、スターターモーターを60秒間冷却させます。オンズ必要に応じて繰り返します。
	エンジンが冷えている。	周囲温度範囲が50° F (10° C) ~ 23° F (-5° C) の場合、エンジンを始動する前にエンジンの予熱を5 秒間放置します。
		周囲温度範囲が50° F (10° C) ~ 23° F (-5° C) の場合、エンジンを始動する前にエンジンの予熱を5 秒間放置します。
	エンジン温度が高い。 ないでください。	エンジンを冷ましてください。再始動しないでください。  過熱の原因が修正されるまでエンジン。
	油圧低下。	油圧低下の原因を取り除くまでは、エンジンを始動しないでください。油圧低下でエンジンを再始動できますが、再度停止するまでは数秒しかかかりません。
エンジンは下部コントロールから始動しません。	スイッチの設定が間違っている。エンジンバッテリー切断スイッチを回してもクランクしません。	オンにしてから下部コントロールに: <ul style="list-style-type: none"> <li>• コントロール・セレクタ・スイッチをオフにします。</li> <li>• 非常停止ボタンを外側に引きます。</li> <li>• コントロール・セレクタ・スイッチを10 秒間下のコントロール位置に置いてから、エンジンを始動します。</li> </ul>
	管理・セレクタ・スイッチはの位置に戻します。エンジンを始動する前に、またはそれ以上。	スイッチをオフに戻し、30 秒間オン30秒以内に開始する。

症状	推定原因	処置
エンジンが上部コントロールから始動しません。	スイッチの設定が間違っている。エンジン	<p>バッテリー切断スイッチをオンにしてもクランクしません。</p> <p>その後、下のコントロールで:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コントロール・セレクタ・スイッチをオフにします。</li> <li>非常停止ボタンを外側に引きま</li> <li>す。</li> <li>コントロール・セレクタ・スイッチを上側のコントロール位置にしま</li> <li>す。</li> </ul> <p>上部コントロールから:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタートスイッチをOFF にします。</li> <li>非常停止ボタンを外側に引きま</li> <li>す。</li> <li>スタートスイッチをオンの位置に 5 秒間置いてから、スイッチを回してスタートします。</li> </ul>
	コントロール・セレクタ・スイッチが放置されていた	<p>スイッチをオフに戻し、30 秒間オンの位置にします。または 30秒以内に開始する。スタートする前に長めに回してください。</p>
エンジンが上から始動 ロールに配置しますが、機能が働くジェネレータの位置はありません。 - 交流発電機搭載機 オプションのみ。	AC ジェネレータースイッチが内側にある	<p>スイッチをマシンポジションコント 機械機能进行操作するための位置。</p>
制御se-時のエンジンダイス 部コントロールのエメクタスイッチを適切に引きます。 上部コントロールに配置される オンにします。位置	上部コントロールがセットアップされていない	<p>上部コントロールで、下 Gency Stopボタンを上に戻す スタートスイッチを</p>
エンジン作動中にアラームが鳴り ます。	エンジン温度が高い。	<p>作業台を下げ、まで縮小する 5分間アイドルする。エンジンをオ フにして、冷まします。過熱の原因を 取り除くまで、エンジンを再始動しな いでください。</p>
	油圧低下。	<p>作業台を下げ、エンジンを停止しま す。油圧低下の原因を取り除くまで、 エンジンを再始動しないでください。</p>

症状	推定原因	処置
定音アラームが鳴り、エンジンが停止する。	エンジン温度が高い。	エンジンを冷ましてください。過熱の原因を取り除くまで、エンジンを再始動しないでください。
	油圧低下。	油圧低下の原因が修正されるまでエンジンを再始動しないでください。油圧低下でエンジンを再始動できますが、再度停止するまでは数秒しか作動しません。
すべての機能が動作を停止します。	リザーバ内の液体レベルが低い。	液面を確認してください。必要に応じて、正しい種類の液体を追加してください。
	エンジンまたはポンプの故障。	緊急ブリードダウンシステムを使用して、機械を手動で収納します。
	電気システムの誤動作。	緊急ブリードダウンシステムを使用して、ブームを手動で下げます。
下部コントロールは作動しません。	バッテリー切断スイッチがオフになりました。	スイッチをオンの位置に置きます。
	下部コントロールの非常停止ボタンがオフ位置に押し込まれている。	非常停止ボタンを外側に引きます。
	コントロール・スイッチが上側のコントロール位置になっている。	スイッチを下側の制御位置に置きます。
	地上操作スイッチがオンの位置に保持されていない。	コントロールトルグルスイッチを操作している間、地上操作スイッチをオンの位置に保ちます。
上部コントロールは機能しません。	バッテリー切断スイッチがオフになりました。	スイッチをオンの位置に置きます。
	下部コントロールと上部コントロールの非常停止ボタンがオフの位置にあります。	非常停止ボタンを外側に引きます。
	下部コントロールのコントロール・セレクタ・スイッチは、下部コントロール位置にあります。	スイッチを上部コントロールの位置に置きます。

症状	推定原因	処置
スタックおよびドライブの機能は低迷しているようです。	作動油は冷えており、厚くなっています。	天候に適した寒冷地用作動油をお勧めします。本機を操作する前に、オイルを温めてください。
駆動機能は作動しません。	負荷容量を超えました。	荷物を作業台から取り外します。参照 最大容量の作業台積載プラカード。
	成形機の勾配が急すぎる場合。	ブームを下げ、レベルまで走行する表面。
	ドライブハブが外れている。	駆動ホイールディスクコネクプレートを回す その周りの乳頭は外側を指します。
	油圧システムの圧力が低い。	機械を停止し、作動しない 修理を行うまで。
最高走行速度 3.5 mph (5.6km/h) に 到達できない。	ドライブレンジスイッチが低(亀の部分) になっている。	スイッチをハイ(ウサギ)の位置にします。
	エンジン回転数が低い。	機械を停止し、修理が終わるまで運転し ない。
ウィンチ時には車輪は回り ません。	駆動ハブが係合している。	ニップルが内側を向くように、ドライブホイールディスクコネクプレートを回します。
傾斜アラームは作動しません。	スタックが収納されている。	通常動作。スタックが収納されている場合、傾斜アラームは動作しません。
電気コンセントは作動しません。	電源が接続されていない。	電源をターンテーブルの電源入力コネクタに差し込みます。
	エンジンが始動していない状態で、ACジェネレータースイッチを配置します。	発電機内のAC発電機スイッチ 位置
	作業台への電源コードが接続されていない電源コードをAC ジェネレーターのコネクトに差し込みます。	発電機。

症状	推定原因	処置
作動油温度 93° C (200° F) 以上。	長時間の運転や運転。	流体が冷めるまで運転を停止する。
	リザーバへの高圧フルードリターン。ホースからキンクまたはねじれを取り除きます。ホースのねじれやねじれが原因。	流体を冷却してから操作してください。
	油圧システムコンポーネントの故障。	機械を停止させる
重大な油圧漏れ。	ホース、チューブ、継手、シール等の故障	修理が終わるまで本機を操作しないで ください。

## 付録 A - 用語集

**空中プラットフォーム** - 調整可能な位置プラットフォームを持つモバイルデバイスで、構造物によって地面の高さから支えられます。

**周囲温度** - 直近の環境の空気温度。

**認定要員** - 特定の場所で特定の職務を遂行するために任命されたものとして承認された要員。

**ベース-安定性サポート**を構成する高所作業台の関連接点(車輪、キャスター、アウトリガー、スタビライザなど)。

**ブーム**-作業台を支える可動片持ち梁。

**重心** - 荷重が均等に分散される高所作業台の点です。

**シャーシ** - ブームの可動性と支持を提供する高所作業台に不可欠な部品です。

**転落防止装置**-国または地方の規制および基準で要求されるように、転落防止装置または個人的な墜落防止装置のいずれかを含む転落から保護するシステム。

**降下抑制**-作業台のガードレールの境界内でブームリフトに作業中に使用され、作業台から上方に突き出されるのを抑制するシステム。このシステムには、ハーネスまたはベルト、ラニヤード、およびラニヤードアンカーが含まれる。Federal OSHA、ANSI、およびSnorkelでは、ブーム支持の高所作業台上の作業台ガードレールを超えて、追加の落下防止装置を使用する必要があります。

**床面または地面の圧力-最大圧力**で、ポンド/平方インチで表され、1つの車輪が床面または地面に集中します。

**傾斜性**-高所作業台が移動できる最大傾斜。

**漏電遮断器(GFCI)**-アースへの非常に小さな電流リークを感知した場合に、電気回路の流れを止めるために開く、高速作動の回路遮断器。GFCIは、電気工具や配線の不具合による感電の危険から作業者を保護するために使用します。

**ガードレールシステム**-作業台の周囲に縦方向のバリアを設け、作業員の転落を防ぎます。

**危険な場所** - ANSI/NFPA 505 で定義されている爆発性または可燃性の雰囲気を含んでいるか、その雰囲気を閉じ込める可能性がある場所。

**ジブ**-先端ブームに取り付けられた関節ブームで、ブーム全体の到達距離が長くなります。

**レベルセンサー**-完全なレベルから事前設定された変動の度合いを検出するデバイスです。レベルセンサーは、あらかじめ設定された値よりも大きな傾斜で動作している場合にアラームを鳴らすために使用されます。

**下部操作ボタン**-高所作業台の機能の一部または全部を操作するための、地上レベルにある操作ボタン。

**メインブーム**-ターンテーブルとジブの間にあるブームアセンブリです。

**製造元** - 高所作業台を製作、建設、生産する人または実体。

**最大移動高さ**- 最大作業台高さ、または製造者が移動を許可する安定性に関して最も悪い構成。

**最大輪重** - 1つの車輪を通して床または地面に伝達できる荷重または重量。

**最小安全接近距離** - 架空作業台を使用するときに電気導体が近づくことができる最小安全距離。M.S.A.Dとも呼ばれます。

**操作**-仕様の範囲内で、かつ製造者の指示、使用者の作業ルール、および適用されるすべての政府規制に従った、いかなる高所作業台の機能の性能。

**作業員** - 高所作業台の移動を制御する有資格者。

**個人用転落防止システム**-保護されていない縁(ガードレールのない屋上など)での作業中に使用される転落防止システム。このシステムには、ハーネス、ラニヤードまたはその他の接続装置、転落防止装置、エネルギーアブソーバーまたは減速機、アンカーレッジコネクター、建物の梁、桁または柱などの安全なアンカーレッジが含まれる。高所作業台は、落下阻止固定装置ではない。

**作業台**-高所作業台の一部で、作業員が工具や資材を使って作業することを目的としています。

**作業台の高さ** - 作業台の床からシャーシが支えられている面までの垂直距離です。

**プリスタート検査**-高所作業台を操作する前に毎日実行される必要な安全点検ルーチンです。

**有資格者**-知識、経験、またはトレーニングの理由により、実行する操作と関連する危険性に精通している人。

**定格積載荷重**-メーカーが指定する高所作業台の設計積載荷重。

**Snorkel Guard (スノーケルガード)** - 上部コントロールパネルの上にスプリング式レールが取り付けられ、機械的に作動するガードシステム。レールに押し当てるとシステムが作動し、機械の機能が停止して作業台の上昇が停止します。

作業台などのコンポーネントを静止位置に配置するために収納します。

**テップブーム** - メインブーム内から伸縮するテレスコピックブームセクションです。テップブームが作業台に最も近くなっています。

**回転半径** - ステアリングホイールを最大に回した状態で、360° 回転中にホイールが作成した円の半径。内側の旋回半径は、中心に最も近いホイールで、外側の旋回半径は、中心から最も遠いホイールです。

**ターンテーブルブーム**を支える回転ベアリングの上の構造です。ターンテーブルは回転の中心線を中心に回転します。

**無制限の定格荷重容量**-すべての動作構成において、メーカーが許容する高所作業台の設計上の最大耐荷重。

**上部操作**-高所作業台の機能の一部または全部を操作するために使用される作業台の上または横にある操作部。

**ホイールベース**-後輪の中心から前輪の中心までの距離。

**作業用封筒**-作業台が置かれることがあるブーム移動の水平および垂直限界によって定義される領域。

**作業高さ**-作業台の高さ

エイハン・ジャパン株式会社

本社

東京都港区芝浦3-15-2山本ビル3F

TEL: 03-5765-6841

関西支店

大阪府摂津市鳥飼新町1-14-3

TEL: 072-650-1950

 **snorkel**

エイハン・ジャパン株式会社

<http://www.snorkel.jp.com>

 **snorkel**

[www.snorkellifts.com](http://www.snorkellifts.com)